株式会社 東京ドーム

TOKYO DOME GROUP REPORT 2017

東京ドームグループレポート 2017

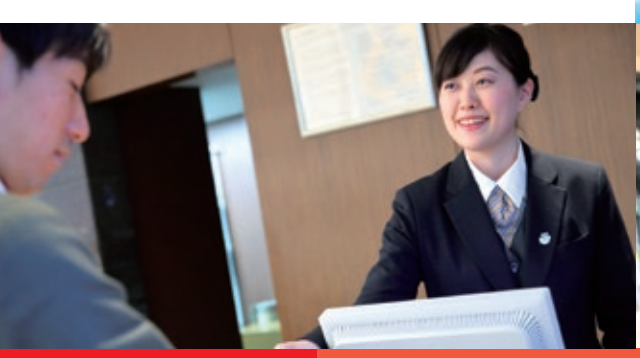


What we are aiming

東京ドームグループが目指すもの

当社グループは、いつの時代にもほかに先駆けてさまざまなレジャー施設とサービスを多くの人々に提供してきました。これからも、お客様に心から楽しんでいただける安全・安心な都市型レジャーを追い求め続けることを社会的な使命ととらえ、レジャー・サービス業のリーディングカンパニーとして、限りなく前進していきます。









経営理念

企業目的

私たちは　人と ひと とのふれあいを通して
お客様と「感動」を共有し　豊かな社会の実現に貢献します

経営方針

∞ 新しい価値を創造する活力と豊かな対話を求め ∞

- 日々新たな気持ちで仕事に取り組み、前進しよう
- 明日のさらなる発展のために、今日の目標を達成しよう
- お客様の声に耳を傾け、誠意をもってお応えしよう

CONTENTS

02 東京ドームグループの歴史

04 東京ドームグループの事業展開

06 [人を集める3つの力] 1 立地力

08 [人を集める3つの力] 2 イベント力









安全理念

東京ドームグループは、お客様と「感動」を共有するために、安全を第一に考え、行動します

安全基本方針

- 安全で楽しい施設とサービスの提供を追求し続けます
- 安全について私たち自身で基準を設定し遵守します
- 安全のための教育訓練に積極的に取り組みます





10
[人を集める3つの力]
3 施設力

12 施設紹介
22 トータルソリューション
23 Data Part
24 中期経営計画「新機軸」
25 トップインタビュー
30 CSR
36 事業別業績ハイライト
38 施設別参考データ一覧
40 経営成績と財務状況
42 連結財務ハイライト
44 会社概要／株式情報
45 グループ会社紹介
46 沿革

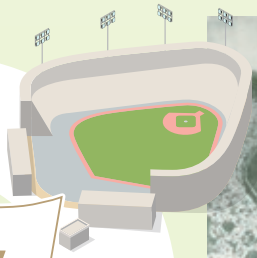
- 当レポートに記載されている将来の計画や見込み数値などは、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、経済動向や事業環境、消費動向の影響を受けるリスクや不確実性を含んでいます。
- 当レポートは原則として2017年1月期終了時点の情報に基づき作成しています。
- 金額は単位未満を切り捨て、パーセント・倍率は四捨五入して表示しています。
- 営業情報は変動する場合があります。最新の情報はHPでご確認ください。(www.tokyo-dome.co.jp)

東京ドームグループの歴史は、
お客様との「感動共有」の

当社グループの歴史は、1936年に株式会社後楽園スタヂアムを創立したことから始まります。
その翌年には後楽園スタヂアム（以下、後楽園球場）が誕生。現在では世代を問わず、多種多様なニーズに
お応えできるさまざまな施設を有するグループとなりましたが、始まりはたったひとつの球場でした。

このひとつの野球場から、グループの歴史が始まりました







1937年

東京の真ん中に「後楽園球場」が誕生。当時は屋根のない球場で、プロ野球全8球団の公式戦が開催されていました。



1940年代







野球以外のレジャー施設も、球場の周りに次々と誕生！

「後楽園ゆうえんち」「後楽園競輪場」「後楽園プール」など、さまざまな楽しみの場をつくりました。



日本各地でレジャー施設を展開していきました

「熱海後楽園」をはじめ、「石打後楽園スキー場」「石打後楽園カントリークラブ」など、各地にレジャー施設をつくりました。

1960年代







歴史です。







1980年代

日本初の全天候型多目的スタジアム「東京ドーム」が誕生。雨天の心配がなくなったため、イベントやコンサート会場としての利用が増えました。



1990年代

「PRISM HALL（プリズムホール）」や地下遊園地「ジオポリス」など、雨天でもお客様に楽しんでいただける街づくりを目指しました。





2000年代

観光の拠点「東京ドームホテル」が誕生。エンタテインメント型融合商業施設「LaQua（ラクーア）」や複合施設「MEETS PORT（ミーツポート）」もつくり、癒しやくつろぎをテーマにした空間が生まれました。



2010年～

屋内型キッズ施設「ASOBono！（アソボーノ）」、屋内型スポーツ施設「スポドリ！」、宇宙ミュージアム「TeNQ（テンキュー）」、フードコート「GO- FUN（ゴファン）」、遊べるギャラリー「Gallery AaMo（ギャラリーアーモ）」をはじめ、あらゆる世代がともに楽しめる施設をつくりました。





後楽園球場とできたばかりの東京ドーム

東京ドームグループは6つのセグメント

あらゆる世代のお客様に感動を届けるべく、80年にわたり進化を続けてきた
当社グループは、現在6つのセグメントで事業を展開しています。
グループの中核である東京ドームシティ事業をはじめ、多種多様な事業をご紹介します。

2017

東京ドームシティ事業

ランドマークである東京ドームを中心とした当社グループの中核をなす事業

東京のランドマーク的な存在でもある「東京ドーム」をはじめ、「東京ドームシティ アトラクションズ」「LaQua」「MEETS PORT」「黄色いビル」「東京ドームホテル」「PRISM HALL」「後楽園ホールビル」といった施設を展開しています。これらの多種多様な施設のラインナップが、お客様の回遊性を高めて各施設の相互利用などの相乗効果をもたらしています。










で多様な事業を展開しています。

流通事業
セレクトコスメショップ shop inを全国展開



「Your Beauty Concierge〜 いつもあなたのキレイのために〜」をコンセプトに、旬のビューティーアイテムを取り揃えたセレクトコスメショップ「shop in」を運営する事業です。全国で約40店舗を展開しています。

不動産事業
テナントビルや商業施設で不動産収入を獲得



首都圏を中心に、アドホック新宿ビルや、千葉県松戸市にあるプチモール二ツ木などの商業施設、代々木や市ヶ谷のオフィスビルなどを保有し、主に賃貸および管理業を展開しています。

熱海事業
天然温泉リゾート熱海後楽園ホテルを運営



東京から新幹線で約50分のオーシャンビュー「熱海後楽園ホテル」を運営する事業です。新鮮な海の幸と天然温泉、ホテルと旅館の良さを兼ね備えた心温まるホスピタリティを提供しています。

競輪事業
松戸競輪場を運営 太陽光発電事業にも参入



千葉県松戸市にある松戸競輪場の賃貸および競輪施行者からの運営受託事業です。競輪場運営の豊富なノウハウにより競輪の発展に努めています。サテライト大和(宮城県)等の専用場外発売事業も行っています。

その他
施設の運営・管理等、幅広い分野の事業を展開



その他事業は、スポーツ施設の直営および計100件以上の運営受託、生命・損害・医療保険代理店事業、有価証券の保有・管理事業や、有線テレビジョン放送事業などから構成されています。

東京ドームグループのサービス一覧

ホール
- 東京ドーム
- TOKYO DOME CITY HALL
- 後楽園ホール
- PRISM HALL
- シアターGロッソ
- 東京ドームホテル「天空」

ホテル
- 東京ドームホテル
- 熱海後楽園ホテル

アミューズメント
- 東京ドームシティ アトラクションズ
- ASOBono！
- 宇宙ミュージアム TeNQ
- ヒーローショー(シアターGロッソ)
- Gallery AaMo

スポーツ
- スポドリ！
- 東京ドームボウリングセンター
- 東京ドーム ローラースケートアリーナ
- フィットネスクラブ東京ドーム
- 後楽園スポーツクラブ調布
- 後楽園スイミングスクールひばりが丘

テナント施設
- LaQua
- MEETS PORT
- 後楽園ホールビル
- 黄色いビル
- アドホック新宿ビル
- プチモール二ツ木
- 柿の木坂BMWビル

スパ
- Spa LaQua(スパ ラクーア)

流通
- shop in(ショップイン)
- Crème et Rouge(クレームエルージュ)

競輪
- 松戸競輪場
- サテライト大和
- サテライト船橋

運営受託
- スポーツ施設・文化施設等の運営・管理
- イベント企画など

［人を集める3つの力］

1 立地力

好アクセスの都心・文京区に立地
昼夜間あらゆる世代が集まります。

東京ドームシティは都心・文京区に広大な敷地面積を有し、隣接する千代田区、新宿区を含めた昼夜間ともにボリュームあるマーケットにはあらゆる世代の人々が集まります。東京駅から約6分、池袋駅・上野駅から約7分、新宿駅から約14分とターミナル駅からのアクセスに優れ、JR・地下鉄の計5路線が乗り入れています。幅広い種類のビッグイベントの開催場所としても大きな競争力を有しています。

新宿区

東京23区ランキング

人口※1 341,415人

園児・生徒・学生数※2
総数 3位
120,949人

大学生・大学院生 3位
72,951人

従業者数※3
4位
654,483人

昼間人口※4
4位
737,252人



文京区

東京23区ランキング

人口※1 215,408人

園児・生徒・学生数※2
総数 4位
118,612人

高校生 3位
16,018人

大学生・大学院生 2位
75,698人

千代田区

東京23区ランキング

人口※1 60,545人

園児・生徒・学生数※2
総数 1位
168,576人

大学生・大学院生 1位
133,895人

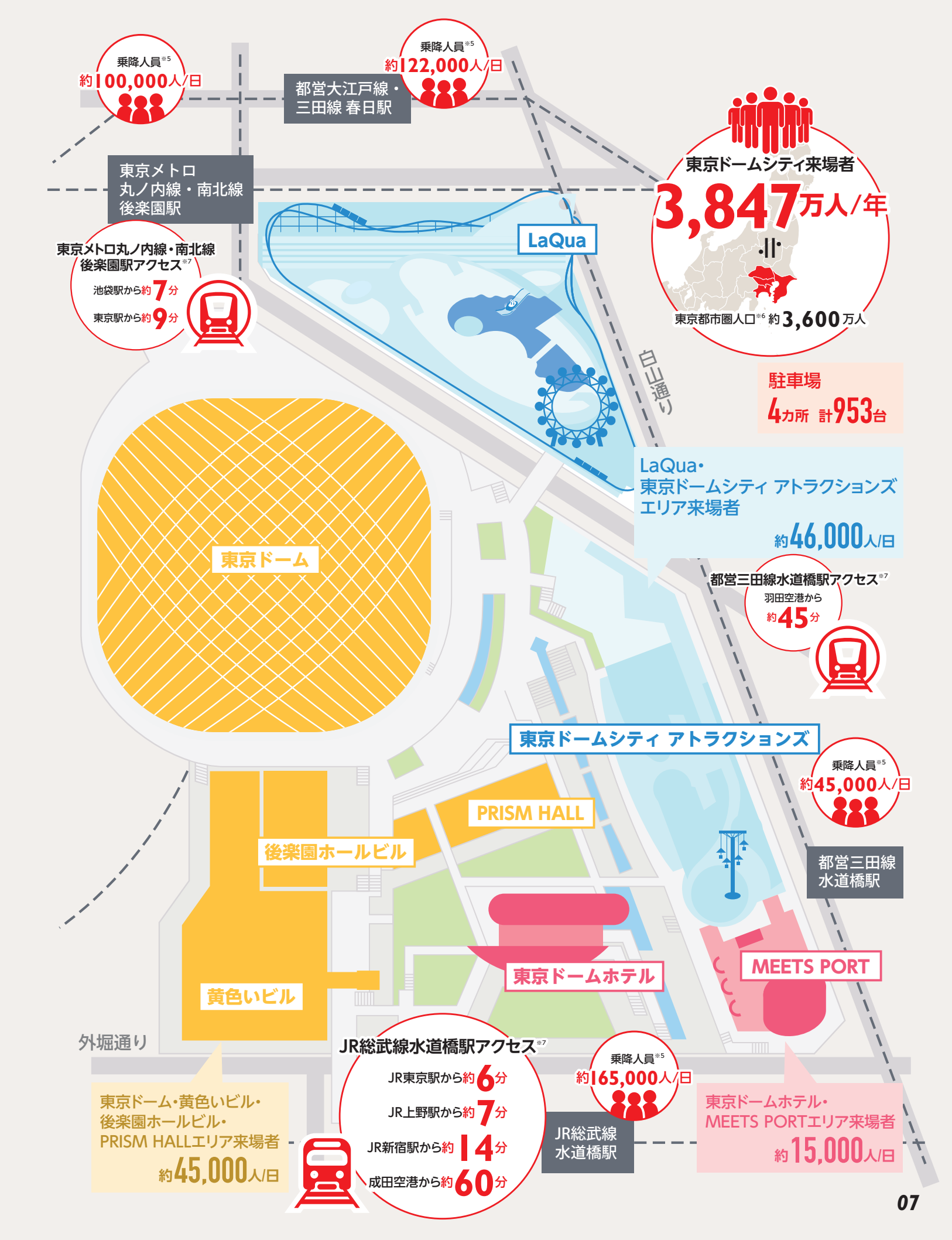
従業者数※3
2位
952,841人

事業所数※3 3位
33,904事業所

昼間人口※4
3位
812,360人

東京ドームシティには、
「人を集める」力があります。

※1 東京都「住民基本台帳人口（平成29年5月）」 ※2 文部科学省「学校基本統計（学校基本調査報告書）（平成28年度）」総数は園児、小学校・中学校・高等学校の生徒数、大学・大学院生、専修学校生の総数。
※3「平成26年経済センサス-基礎調査結果」（総務省統計局） ※4 東京都「区市町村別昼間人口（平成27年）」 ※5 JR東日本「各駅の乗車人員（2015年度）」、東京メトロ「各駅の乗降人員ランキング（2015年度）」、東京都交通局「各駅乗降人員一覧（2015年度）」のデータを基に作成。JR東日本は乗車人数のみ公表のため、乗車人員数を2倍し算出。 ※6 東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県の各都県の2016年5月1日現在の人口推計より算出 ※7 各所要時間には乗り換え時間は含みません。


乗降人員※5
約100,000人/日
乗降人員※5
約122,000人/日
都営大江戸線・
三田線 春日駅
東京メトロ
丸ノ内線・南北線
後楽園駅
東京ドームシティ来場者
3,847万人/年
東京都市圏人口※6 約3,600万人
東京メトロ丸ノ内線・南北線
後楽園駅アクセス※7
池袋駅から約7分
東京駅から約9分
LaQua
白山通り
駐車場
4カ所 計953台
LaQua・
東京ドームシティ アトラクションズ
エリア来場者
約46,000人/日
都営三田線水道橋駅アクセス※7
羽田空港から
約45分
東京ドーム
東京ドームシティ アトラクションズ
乗降人員※5
約45,000人/日
PRISM HALL
後楽園ホールビル
都営三田線
水道橋駅
東京ドームホテル
MEETS PORT
黄色いビル
外堀通り
JR総武線水道橋駅アクセス※7
JR東京駅から約6分
JR上野駅から約7分
JR新宿駅から約14分
成田空港から約60分
乗降人員※5
約165,000人/日
JR総武線
水道橋駅
東京ドーム・黄色いビル・
後楽園ホールビル・
PRISM HALLエリア来場者
約45,000人/日
東京ドームホテル・
MEETS PORTエリア来場者
約15,000人/日

［人を集める3つの力］

2 イベント力

東京ドームシティならでは

キッズ・家族、カップル、シニアといったさまざまな
オリジナル性の高いイベントを、年間を通じて発信し

春
March→May



卒業生いらっしゃい2017

ワンデーパスポートが最大1,300円引きとなる「卒業生スペシャルチケット」を販売するなど、卒業シーズンの定番イベント。

夏
June→August



夏期限定お化け屋敷「赤ん坊地獄」

毎年恒例、お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏の代表作の続編が登場。20年の時を経て、“赤ん坊を抱いて進む”お化け屋敷が再び。

ビッグイベントが通年で開催！



野球



その他スポーツイベント



東京ドームシティ GIANTS開幕祭 2017

高さ3m超の巨大な「GIANTS“新化”だるま」に、高橋由伸監督が「目入れ」。ほかにも、スタンプラリーや選手のスペシャルトークを実施。



夏休み毎日イベント in 東京ドームシティ 30Days

ビー玉万華鏡作りや、パン・ケーキ作りをはじめ、お子様の夏休みの宿題にも役立つ無料の体験イベントを、各施設・店舗で30日間毎日開催。

後楽園エリア Welcome Rally

「LaQua ショップ&レストラン」と「メトロ・エム後楽園」を両方利用すると、お食事券などの素敵なプレゼントが当たるスタンプラリー。



イースタン・リーグ 2016 in TOKYO DOME

グラウンドでベースランニングが楽しめたり、普段なかなか手に入らないシートや、ブルペン投球体験などの特典が付いたチケットを発売。



の多彩なイベントを年間通して開催しています。

ターゲットに向け、プロ野球やコンサートなどのビッグイベントだけでなく、
続けています。施設ごとに開催されるアニバーサリーイベントも見逃せません。

秋
September → November



恋するイタリア
光の魔法を、アモーレたちへ。

クリエイティブディレクター長谷川喜美氏による冬のイルミネーションは、日伊国交150周年を記念してイタリアとコラボレーション。

冬
December → February



ふるさと祭り東京2017
—日本のまつり・故郷の味—

青森ねぶた祭りをはじめとする全国の有名な祭りや、「全国ご当地どんぶり選手権」を開催。300を超えるご当地の味が集結。



ビジネス展示会



コンサート

プロ野球やコンサート、その他スポーツイベント、各種展示会などのビッグイベントが、年間を通じて数多く開催されています。

アニバーサリーイベントも開催

毎年記念イベントも施設ごとに開催しています。お得で楽しいサービスが満載！



©2016「君の名は。」製作委員会

宇宙ミュージアムTeNQ 2周年特別企画展

映画「君の名は。」とコラボした『新海誠が描く宙展（ソラ）』を開催。



GO-FUN 5th Birthday Fair！

スタンプラリーや平日限定プレゼントなどのキャンペーンを実施。



第16回東京国際キルトフェスティバル —布と針と糸の祭典—

キルトの魅力を伝える世界最大規模の祭典。特別展示や特別企画のほか、日本の第一線で活躍する作家が「四季 花物語り」をテーマに新作を発表。



©円谷プロ

ウルトラヒーローズEXPO 2017 ニューイヤーフェスティバル IN 東京ドームシティ

会期中毎日実施される「ウルトラマンバトルステージ」には、ウルトラマンオーブに変身するクレナイ ガイ役・石黒英雄さんが全ステージに出演！

[人を集める3つの力]

3 施設力

多様な過ごし方や使い方ができる、

東京ドームシティには、あらゆる世代・用途をターゲットにした施設
東京ドームでのビッグイベントをはじめ、活動の拠点となる東京ドー

ACTIVE

アクティブ


➡P12

東京ドーム

野球、展示会、コンサートなど、老若男女が集う東京ドームシティの"顔"。アクティブな楽しみ方はもちろん、快適なシートでゆったり観戦もできる全天候型多目的スタジアム。

東京ドーム
ローラースケートアリーナ



東京ドームシティ
アトラクションズ





ASOBono！



スポドリ！

YOUNG

年齢層「低」



シアターGロッソ



東京ドーム

東京ドームホテル



RELAXIN

ゆったり


➡P14

東京ドームシティ
アトラクションズ

お子様がいる家族やカップルをはじめ、センターレス大観覧車ビッグ・オーなどシニアも楽しめるアトラクションが揃う、オールターゲットの都心の遊園地。

オールターゲットを魅了する施設が揃っています。

が揃っています。東京ドームシティ アトラクションズやASOBono！でのレジャー、LaQuaでのショッピング、
ムホテルや1日の疲れを癒すSpa LaQuaなど、皆様の多様なニーズにお応えします。



東京ドーム
ボウリングセンター



TOKYO DOME
CITY HALL

後楽園ホール



ELDERLY

年齢層「高」

宇宙ミュージアム
TeNQ



LaQua

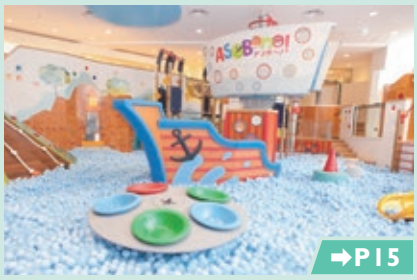




MEETS PORT



Spa LaQua



➡P15

ASOBono！

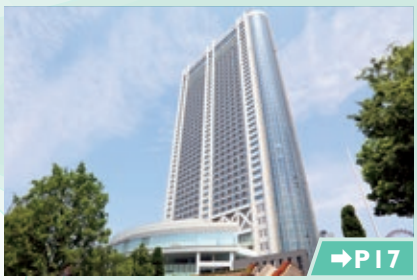
遊園地にはちょっと早いお子様ならこちら。アクティブな遊具、知育ゲーム、ものづくりなど多彩なエリアで、成長や性格に合わせて親子で楽しめます。



➡P16

Spa LaQua

都会のまん中で気軽に温泉を満喫し、ゆったりリフレッシュできる癒しの空間。女性ひとりでの利用はもちろん、若者からシニアまで多様なお客様で賑わいます。



➡P17

東京ドームホテル

都内屈指の立地と規模を誇るシティホテルで1日の疲れをゆっくり癒せます。観光・レジャーやビジネスの拠点として、あらゆる世代のお客様にご利用いただけます。



➡P18

LaQua

20代～30代女性をイメージターゲットに、多彩なショップ&レストラン、スパ、アトラクション、3つのエンタテインメントが揃う融合商業施設。常に新しいトレンドを発信し続けています。

目的や用途に応じて使えるホールが多数揃っています。

日本初の全天候型多目的スタジアムである東京ドームをはじめ、最大3,000人超のキャパシティを誇るTOKYO DOME CITY HALLなど、東京ドームシティには予算や集客規模、さまざまな実施形態に対応可能なホールが多数揃っています。各ホールが有する設備やノウハウはもちろんのこと、東京都心という立地や利便性も大きな利点となっています。

NEWS

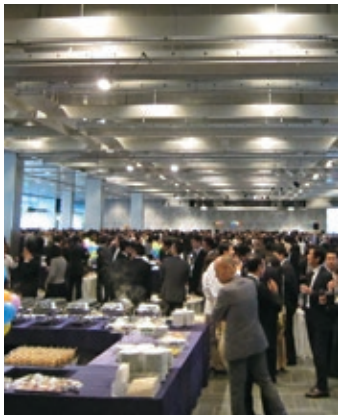
創立80周年の節目に東京ドームを大規模リニューアル

開業以来初となる総事業費約50億円の大規模リニューアルを実施しています。期間は2016年から2019年までの3年にわたり、すでにスタジアムでは日本初のレザークロス仕様シートの新設や、内野観客席の全席改良、アリーナ照明のLED化を行いました。リニューアル第2弾では、エキサイトシートを154席増設し、お食事やお飲み物を召し上がりながら観戦を楽しめる“エキサイトEASYシート”の新設などを行いました。

今後も「美」と「機能」をコンセプトに、快適性・安全性の向上、付加価値の高い商品・サービスの導入、省エネルギーの推進および環境負荷の低減を目的とした整備を行います。







PRISM HALL

最大約2,000人収容のビジネス・展示会系イベントなどさまざまな用途に対応可能なホール。1件あたり1日～2週間行われるイベントを、年100件以上開催。

面積	フロア面積／2,809㎡
高さ	天井高／5m
収容人数	2,085人



天空

正餐スタイルで583人、ブッフェなら1,000人まで利用できる東京ドームホテルにある大宴会場。主に宴会および学会・研修や、婚礼などに使用されます。

階数	東京ドームホテル地下1階
高さ	天井高／7.4m
収容人数	正餐スタイル／583人
	ブッフェスタイル／1,000人



後楽園ホール

”格闘技の聖地”後楽園ホールは、リングを外せば新商品発表会やダンス競技会など多様なイベントに利用される多目的ホール（最大収容人数2,005人）です。

面積	ホール／575㎡
	展示会場／171㎡
階数	後楽園ホールビル5階～6階
収容人数	2,005人



シアターGロッソ

40年以上開催されてきた戦隊ヒーローショーの準専用劇場。ミュージカルや音楽イベントなどにも使われます。765人まで収容でき、研修や講演会にも対応。

階数	ジオポリス地下1階～地上1階
座席数	765席（別途、車椅子3台対応スペース有）

面積	延床面積／12,300㎡
階数	MEETS PORT地下3階～地上2階
収容人数	3,000人

多機能ホール

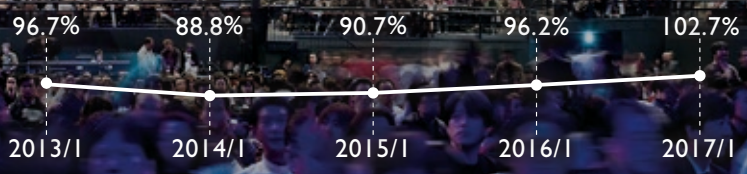
「TOKYO DOME CITY HALL」

スタンディングで最大3,000人超のキャパシティを誇る、都心でも類を見ない多機能ホール。
臨場感と一体感にこだわり抜いた高性能の音響・照明システムを備え、コンサート、ミュージカル、映画、
格闘技、ビジネスなどさまざまな用途に対応。常に高い稼働率を維持しています。

年間イベント開催数

298回

ホール稼働率の推移



家族や友人と一日中楽しめるバラエティ豊かなコンテンツ。

東京ドームシティ アトラクションズを中心に、小さなお子様を含めた家族からカップル・友人など大人同士、シニアまで、さまざまなお客様に楽しんでいただけるバラエティ豊かなコンテンツが揃っています。観光・レジャーなど非日常を体験できるのはもちろんのこと、都心の憩いの場所として、気軽に利用することもできます。



入園無料の都心の遊園地
「東京ドームシティ アトラクションズ」

小さなお子様から大人まで、フリーゲート（入園無料）で1日みんなが楽しめる遊園地。
園内にはセンターレス大観覧車「ビッグ・オー」や最高斜度80度で急降下する「サンダードルフィン」など
23種類のアトラクション。365日休まず営業し、お客様をお待ちしています。

アトラクション利用者数

15,000人/日

利用者数の推移

開業	1955年
面積	敷地面積／30,000㎡
アトラクション数	23種類



都内最大級の屋内型キッズ施設
「ASOBono!」

親子が一緒に楽しめる、都内最大級の屋内型キッズ施設。5つのエリアには、ボールプールやトランポリンなどの身体を使って遊ぶコーナーから、頭を使う知育ゲームコーナーやままごとコーナー、乳幼児専用エリアもあり、お子様の成長や性格に合わせて楽しめます。家族力がアップする仕掛け満載の施設です。

来場者数の推移

面積	敷地面積／1,720㎡
プレイエリア	5箇所
対象年齢	0歳～12歳
定員	500人



東京ドーム ボウリングセンター

54レーンからなるボウリングセンター。すべてのレーンにオートスコアラーシステム、ノンガターのシステムを備え、お子様がいるファミリーから会社単位の大人数の大会まで、幅広いニーズにお応えしています。

面積	延床面積／3,600㎡
階数	黄色いビル4階～5階
レーン数	54レーン

NEWS 東京ドームボウリングセンターにバーカウンター併設のCuBAR LOUNGEがオープン

2017年3月、4Fフロアを「CuBAR LOUNGE（クーバーラウンジ）」としてリニューアルしました。仕事帰りのお客様が、バーカウンターで購入したお酒を飲みながらボウリングをお楽しみいただける、ラウンジ風のクラシックな空間です。60種以上のドリンクや、軽くつまめるフードメニューをご提供します。





スポドリ！

野球、ゴルフ、ボルダリングを同一施設内で楽しめる、屋内型スポーツ施設。上質な空間とインストラクターの親切・丁寧な指導により、お客様の「楽しむ」「習う」「鍛える」というニーズにお応えしています。

面積	フロア面積／2,600㎡
階数	黄色いビル3階
エリア	野球エリア、ゴルフエリア、ボルダリングエリア、多目的フィールド



東京ドーム ローラースケートアリーナ

都内最大級の屋内ローラースケートリンク。思い切り滑れるなめらかな最高品質のフラットリンクと、小さなお子様や初心者でも安心して楽しめるミニリンクがあります。各所に仕掛けられたライティングと音楽で、楽しさを演出します。

面積	フロア面積／1,600㎡
階数	黄色いビル4階
エリア	40m×24mのメインリンク、ミニリンクエリア、ダンスエリア

癒し・学び・滞在型施設。新しい楽しみを提案します。

東京ドームシティは、イベントやアミューズメントだけではありません。開業14年、上質な空間へと進化し続けるSpa LaQuaや、宇宙の真の姿に迫るTeNQ、多目的ギャラリーGallery AaMoなど、新しい癒しと学びの空間を提供しています。さらに、都心の好立地を活かした東京ドームホテルは観光・レジャーやビジネスなどあらゆるシーンの拠点として利用されています。



都会の真ん中で天然温泉
「Spa LaQua」

「女性に優しい、女性に嬉しい」「本物志向主義」「安全、だから安心」の3つの考え方のもと、
心身ともにゆったりくつろげるスパ・温泉施設。女性おひとりの利用でも安心して休憩できる
女性専用ラウンジを設けるなど、都会の真ん中で気軽にリフレッシュを楽しめる癒しの空間です。

年間来場者数
719,000人

来場者数の推移

面積	延床面積／10,000㎡
階数	ラクーアビル5階～9階
泉質	ナトリウム－塩化物強塩泉

「宇宙を感動する」仕掛けが満載

「宇宙ミュージアム TeNQ」

「宇宙を感動する」というコンセプトのもと、お子様からシニアまで幅広い層のお客様が、
楽しみながらさまざまな視点から宇宙を体感できるミュージアム。壮大な宇宙映像が圧巻の「シアター宙」、
東京大学総合研究博物館との産学連携「サイエンス」など、9つのエリアそれぞれの切り口で宇宙に迫ります。

宇宙を見下ろす直径11mの4Kスクリーンで宇宙を感じる

面積	フロア面積／2,600㎡
階数	黄色いビル6階
シアター宙	サイズ／直径11m、解像度／4K×4K 上から見下ろして観覧する「映像観覧システム」と「映像表示方法」は国内特許取得済

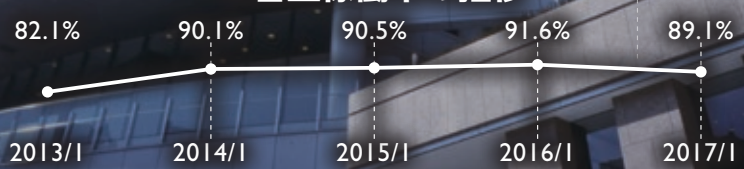
面積	敷地面積／15,865㎡ 延床面積／105,856㎡
階数	地上43階・地下3階
高さ	155m
室数	1,006室

多目的に利用できるシティホテル

「東京ドームホテル」

多彩なレストラン・バーやオリジナリティ豊かな宴会・婚礼プラン、
1,006室のゲストルームを備えた地上43階建てのシティホテル。
5つの駅に囲まれた都心のどこに行くにも便利な好立地で、
観光・レジャーやビジネスの拠点として
国内外問わず多くの方に利用されています。

❯客室稼働率の推移





NEW

大人のための多目的ギャラリー

「Gallery AaMo」

2017年4月にオープンした、エンタテインメント性とアートの融合による、「楽しさ」と「ライブ感」を体験できる大人のための「遊べる」ギャラリー。多彩なジャンルの催事を継続的に展開していきます。

面積	延床面積／830㎡
高さ	天井高／5m

集客コンテンツとの相乗効果を意識したテナントミックス。

10周年のリニューアル以降今まで以上にニーズに応える施設へと進化を続けている「LaQua」。レストラン、ホール、ガーデンという3つの機能を複合した施設「MEETS PORT」。これらテナント施設は、集客の最大の強みであるイベントホールやアミューズメント施設との相乗効果を意識しながら、常に顧客満足の最大化を目指しています。



エンタテインメント型融合商業施設
「LaQua」

ショップ&レストラン、アトラクション、スパの3つのゾーンが集結したエンタテインメント型融合商業施設。
2013年の開業10周年を記念した大規模リニューアルをはじめ、2016年3月には10店舗が新規および
改装オープンするなど、常に「五感を刺激する」サービスを提供し続けています。

年間来場者数

15,100,000人

テナント売上高の推移（百万円）

2013/1	2014/1	2015/1	2016/1	2017/1
11,959	12,568	13,302	13,723	13,754

※テナント数：約75店舗

面積	敷地面積／16,000㎡
	延床面積／55,500㎡
階数	地上9階・地下2階

その他テナント

LaQuaやMEETS PORTのほかにも、東京ドームシティ全域には、数多くのショップやレストランが展開し、お子様から大人まで幅広いターゲットにバラエティ豊かなサービスを提供しています。これら数多くのテナントの存在が東京ドームシティ全体でのお客様の回遊性を高めています。





面積	敷地面積／6,579㎡
	延床面積／21,405㎡
階数	地上5階・地下4階

複合施設

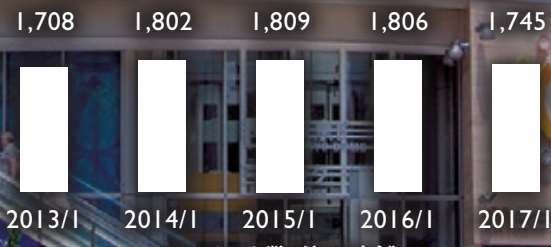
「MEETS PORT」

レストランやカフェなどが揃った「ダイニング」と
TOKYO DOME CITY HALLを擁する「ホール」、
それを包み込むように広がる「ガーデン」という3つの機能を複合化した施設。
東京ドームシティ玄関口の好立地にあるため来場者数も多く、
周囲や施設内のアートワークも見どころのひとつです。

年間来街者数

3,494,000人

テナント売上高の推移（百万円）



※テナント数：約10店舗

培ってきたノウハウを基に全国各地でサービスを提供しています。

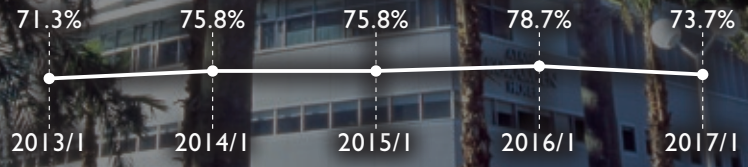
当社グループは、東京ドームシティで培ってきたノウハウを活かしながら各地でサービスを提供しています。主に、「熱海後楽園ホテル」や、全国に約40店舗展開しているセレクトコスメショップ「shop in」、ほかにも競輪場や直営スポーツ施設、テナントビルなどを展開しています。

オーシャンビューホテル
「熱海後楽園ホテル」

東京から新幹線で約50分のオーシャンビューホテル。新鮮な海の幸と天然温泉はもちろんのこと、
さまざまなリラクセーションや熱海名産を取り揃えたお土産や、東京ドームグループらしい
エンタテインメント性も誇ります。ホテルと旅館の良さを兼ね備えた心温まるホスピタリティも人気の秘密です。

年間宿泊者数
144,000人

客室稼働率の推移



階数	地上18階
高さ	79m
室数	89室



※掲載CGは計画段階のものであり、施工上等の理由により変更となる場合があります。提供：竹中工務店

NEWS

熱海最大級の日帰り温泉施設が2019年春に誕生
宿泊施設をはじめ多様なニーズに応える複合型リゾート施設を建設

敷地内に新たな宿泊施設と日帰り需要をターゲットとした施設を建設し、2019年春に開業します。相模灘を一望する熱海最大級の日帰り温泉施設をはじめ、“伊豆”をテーマにしたダイニング&マーケット、屋外には季節ごとのイベントが開催できるテラスや憩いの広場を設け、旅行者の様々なニーズと期待にお応えする複合型リゾート施設の誕生を目指します。

shop in



上質なコスメと、トレンドや季節に合わせた旬のビューティーアイテムを取り揃えたセレクトコスメショップ。「Your Beauty Concierge ～いつもあなたのキレイのために～」をブランドコンセプトに、全国で約40店舗を駅ビルなどを中心に展開しています。

店舗数	41店舗

NEWS

「shop in」の新業態店舗「Crème et Rouge」を2017年4月にオープン

2017年4月、新業態店舗「Crème et Rouge(クレームエルージュ)」を、大阪・梅田駅の商業施設「阪急三番街」にオープンしました。30代以上の"オトナ女子"をイメージターゲットに、オンタイムを輝かせる最新メイクアップアイテムと、オフタイムを充実させるスキンケア・ヘアケア・ボディケア・インナーケアアイテムを取り揃え、美容ニーズをオールインワンでサポートします。上質なアイテムを厳選した提案型コスメショップと位置付け、豊富な知識を備えたスタッフの商品提案力を強みとしていきます。



松戸競輪場ほか



松戸競輪場は千葉県松戸市にある、駅から徒歩2分の競輪場。1周333mの特徴的なバンク(走路)を有し、60年以上もの長きに渡りファンに愛され続けています。また場外車券売場として、サテライト大和(宮城県)も保有しています。

松戸競輪場

面積	敷地面積／48,791㎡ 建築面積／37,703㎡
競走路周長	333.33m

サテライト大和【競輪場外車券売場】

面積	敷地面積／39,288㎡ 延床面積／5,770㎡
収容人数	1,319名

直営スポーツ施設



フィットネスクラブ東京ドーム、後楽園スポーツクラブ調布、後楽園スイミングスクールひばりが丘を直営にて展開しています。施設ごとにさまざまなプログラムを用意し、お客様の健康づくりをサポートしています。

フィットネスクラブ東京ドーム

施設概要	トレーニングマシン120台、フィットネススタジオ2室、フィットネスプール(25m×6コース、20m×2コース)、ジャグジー

後楽園スポーツクラブ調布

施設概要	屋内温水プール(25m×15m 7コース)、マシンジム、フリーウェイト、スタジオ、ギャラリー室、スクール会員用ロッカー、体操室、バスルーム(サウナ)、ロッカールーム、シャワー室

後楽園スイミングスクールひばりが丘

施設概要	屋内温水プール(25m×13m)、体操室、採暖室、ロッカールーム、ギャラリー室、シャワー室

テナントビル



首都圏を中心に複数のテナントビルを有しており、主な施設として、松戸公産アドホック新宿ビルやプチモール二ツ木、柿の木坂BMWビル、代々木イーストビルなどがあります。(写真は千葉県松戸市にある商業施設プチモール二ツ木)

松戸公産アドホック新宿ビル

用途	商業テナントビル
階数	地上8階・地下2階
テナント数	11店舗

プチモール二ツ木

用途	商業テナントビル
階数	地上2階
テナント数	5店舗

柿の木坂BMWビル

用途	商業テナントビル
階数	地上2階・地下1階

代々木イーストビル

用途	オフィステナントビル
階数	地上8階

松戸公産市ヶ谷ビル

用途	オフィステナントビル
階数	地上5階

蓄積されたノウハウを活かし、質の高いトータルソリューションを提供しています。

東京ドームグループでは、一般企業や自治体のお客様に対し、
グループ各社が長年培ってきたイベント企画、スポーツ施設運営、施設管理などのノウハウを
ひとつにまとめたトータルソリューションを提供しています。
さまざまなジャンルの集客イベントやスクールプログラムの企画・運営、
ビル・施設などの運営・保守・管理など質の高いサービスを展開します。

(株)東京ドーム



イベント企画／提案

- あらゆる施設の豊富な管理・運営実績
- 強力な集客力

(株)東京ドームスポーツ



プログラム構築・人材派遣

- スポーツクラブ・スパ運営
- 専門的で経験豊かな人材

(株)東京ドームファシリティーズ



施設管理・維持

- ISO9001を取得した品質力
- クリーン・設備メンテナンス・セーフティ事業
- ミュージアム運営

グループの総合力で実現する良質なサービスとコストパフォーマンス

主な業務受託実績

新規受託施設
- 豊島区IKE・Biz としま産業振興プラザ
- 我孫子市あびこ市民活動ステーション
- 豊能町立高山コミュニティセンター 右近の郷
- 松塩地区広域施設組合「ラーラ松本」「平瀬運動公園」

既存受託施設
- 文京スポーツセンター・文京総合体育館・他5施設
- 板橋区立体育施設23施設
- 豊島区立南長崎スポーツセンター・中央公園・自転車駐車場
- 練馬区立中村南スポーツ交流センター
- 静岡県草薙総合運動場
- 流山市民総合体育館
- 流山市体育施設8施設
- 豊能町立スポーツセンターシートス
- 東村山市民スポーツセンター
- 松戸市小金原市民センター他7市民センター
- 流山市野々下福祉会館・児童センター・流山市思井福祉会館・児童センター
- 東京ドームスポーツセンター東久留米（東久留米市スポーツセンター）

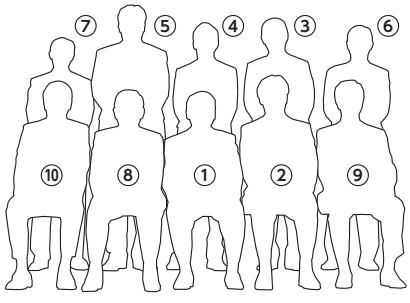
受託施設数
合計 100以上

Tokyo Dome Group Report 2017
Data Part

中期経営計画「新機軸」初年度が終了――

レジャー事業の拡大を見据えて経営資源の最適配分を進め、
持続的に企業価値を創出する100年企業を目指します。





① 取締役会長 執行役員	久代 信次	⑥ 常務取締役 執行役員	西勝 昭
② 代表取締役社長 執行役員	長岡 勤	⑦ 常務取締役 執行役員	小田切 吉隆
③ 代表取締役専務 執行役員	野村 龍介	⑧ 取締役（社外・独立）	秋山 智史
④ 代表取締役専務 執行役員	山住 昭宏	⑨ 取締役（社外・独立）	森 信博
⑤ 専務取締役 執行役員	谷口 好幸	⑩ 取締役（社外・独立）	井上 義久

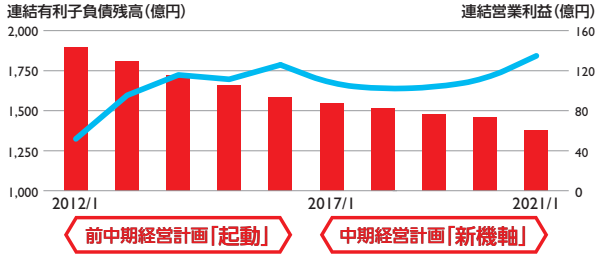
※2017年4月27日現在

中期経営計画「新機軸」の詳細は
http://www.tokyo-dome.jp/ir/strategy.html を参照ください。

東京ドームグループは、前中期経営計画「起動」で培った収益性を維持・強化しながら、東京オリンピック・パラリンピックなども契機に、レジャー事業において良い経営環境が望める間に、5年後、20年後の創立100周年、そしてその先を見据えた100年企業への成長の軌道を描いていくことを目指します。

2017年1月期からスタートした中期経営計画「新機軸」では、中心となる軸をしっかりと保ちながら、これまで以上に「成長戦略としての外部事業への進出・新事業の開拓」を推進していきます。今後も、従来とは異なる方法や工夫に積極的に挑戦し、次世代に向けた東京ドームグループの新たな価値創造を目指します。

連結営業利益と連結有利子負債残高の推移のイメージ



4つの経営方針

[基本方針] レジャー事業の拡大を見据えて経営資源の最適配分を進め、持続的に企業価値を創出する100年企業を目指す。

[投資方針] 安定的な収益基盤の底上げに向けて、**平均的な年間の投資規模を「起動」から拡大する。**さらに、ピークアウト事業およびノンコア事業も含め、**多元的に評価した事業性に基づき、資産の入れ替えを推進する。**

[財務方針] **よりキャッシュフローを重視する経営**を行い、**投資は利益の範囲内で積み上げる。**

[株主還元方針] 経営環境の変化に関係なく株主への還元を安定化させるために、**「安定配当」と「収益連動配当」の二段階の株主還元方式を導入する。**

「新機軸」では、4つの経営方針のもと、4つの経営目標の達成を目指す

4つの経営目標

収益性の向上	財務体質の改善	資本運用の効率性	安定配当と収益に連動した配当
2021年1月期の連結営業利益 130億円	2021年1月期の連結有利子負債残高 1,390億円	2021年1月期の連結ROA(総資産経常利益率)4%、連結ROE(自己資本利益率)6%	1株当たり12円＋業績連動α

経営目標の達成に対し、8つの経営課題を設定

8つの経営課題

1. 東京ドームシティ事業の利益水準の維持と拡大
2. 新たな成長戦略の研究開発と、東京ドームシティ事業以外の既存事業の成長
3. 人手不足への対応
4. 「安全文化」の浸透・保持
5. コーポレートガバナンス・コードとスチュワードシップ・コードへの対応
6. 「東京オリンピック・パラリンピック」「訪日外国人のお客様」への対応
7. 人口動態の変化に伴う消費行動の変容への対応
8. グループ経営体制の強化

「新機軸」のその先を見据え――持続的な成長に向け、グループの新しい軸となる事業の立ち上げに注力します



Q 2017年1月期は中期経営計画「新機軸」の初年度にあたります。この一年を振り返って、マネジメントとしての総括をお願いします。

中期経営計画「新機軸」（2017年1月期～2021年1月期）では、当社グループが認識する8つの経営課題を総合的に解決するため、8つのアクションプランを策定しました。5年間をかけ、それらをひとつずつ着実に実行していくことで目標の達成を目指しています。

前中期経営計画「起動」（2012年1月期～2016年1月期）では、初年度に遊戯機器の事故と震災があり、苦しい状況からのスタートとなりましたが、最終的には一定の利益が確保できるまでの体制を構築することができました。

「新機軸」は、「起動」の期間中に得られた成果・認識された課題を引き継ぎ、2021年のその先を見据え、利益基盤を盤石にしていくことを目指して策定しました。重要なのは将来にわたり成長するための基礎固めであり、そのために投資を増やし、新しいことに積極的にチャレンジしています。

「新機軸」初年度である2017年1月期は、期初の業績予想を上回ることができましたが、まだ「新機軸」で設定した5年後の最終目標に近づいたという意識はありません。今は、どうやって新しい軸をつくっていくかということに注力している段階であり、その意味では、初年度としていいスタートが切れたという印象をもっています。

2017年1月期業績ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
87,761百万円	12,589百万円	10,771百万円	6,635百万円
前期比2.2%増	前期比1.2%減	前期比1.3%増	前期比45.5%増

Q 経営課題の解決のための8つのアクションプランについて、当期の進捗状況、また2年目以降に想定される取り組みをお聞かせください。

① 東京ドームシティに、将来にわたり持続的に価値をもたらすための環境整備に取り組みます。

少子高齢化、人口減少が進む日本ですが、東京ドームシティは都心という好立地にスタジアム、遊園地、ホテル、温浴施設など多彩な施設を擁し、今後も成長のポテンシャルは高いと考えています。東京ドームシティの価値を高めて収益性の向上につなげるため、施設の更新、サービスレベルの向上などハード・ソフト両面での環境整備を進めています。

東京ドームについては、特に野球観戦環境の向上を図り、3年間・約50億円をかけてオープン以来最大となる大規模リニューアルに取り組んでいます。これまでに座席の改修、アリーナ照明のLED化、最新音響システムの導入などを完了し、今後は東京ドーム周辺の環境整備などを進める予定です。

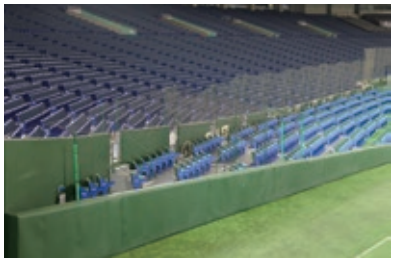
2018年1月期の大きな取り組みとしてはSpa LaQuaの改修があります。2003年のオープン以来初となる大規模リニューアルで、2017年9月の実施を予定しています。

新しい施設では、ボウリングの楽しみ方の新提案としてバーカウンターを併設したCuBAR LOUNGE(クーバーラウンジ)、遊べるギャラリーとしてGallery AaMo(ギャラリーアーモ)を企画し、2017年春にオープンしました。どちらも滑り出しとしては順調です。

東京ドームシティ内のバリアフリー化についても、東京ドーム内も含め少しずつ進めています。すでにバリアフリーとして動線は確保できていますが、まだお身体の不自由な方、お子様を連れたお母様など誰にでも優しい、完全なバリアフリーかというと、そうではない部分も残っています。それらを今後の検討事項として、最終的にはすべてのお客様にとって優しいバリアフリー化の実現を目指しています。

② 熱海後楽園ホテルのリニューアルに取り組みます。

熱海後楽園ホテルでは、2016年8月をもってみさき館・ホール棟の営業を終了し、その跡地となる敷地に、宿泊施設と日帰りの温浴施設をミックスした複合型リゾート施設の建設に取り組んでいます。総事業費は約110億円で、「新機軸」の期間内では最大の投資となります。



【2016年1月から3年間】東京ドームのリニューアルが進行中

1988年の開業以来初となる大規模改修を実施。すでに高付加価値シートの新設、外野側アリーナ照明のLED化、最新音響システムの導入、温水洗浄機能付便座の装備などを完了しました。今後は東京ドーム建物外構部の整備も進めてまいります。

【2017年9月予定】Spa LaQuaリニューアル

2003年開業以来初の大規模改装を実施いたします。これまで以上に温浴を楽しんでいただくために、檜風呂、炭酸泉を新設するほか自宅のリビングのようにくつろげる空間を演出することで、より多くのお客様にご利用いただくことを目指します。



【2017年3月】CuBAR LOUNGEオープン

東京ドームボウリングセンターの一部をリニューアルし、クラシックな空間でおしゃれな大人の遊び場としてのボウリング場を演出します。待ち時間にも利用できるバーカウンターも用意しました。



【2017年4月】Gallery AaMoオープン

AaMoの「A」は「Art」「Amusement」の略、「aMo」は「and More」の意。「大人のための遊べるギャラリー」として20～30代をメインターゲットにさまざまなジャンルの催事を展開していきます。

熱海の魅力は海と新鮮な海産物、そして温泉です。ここ数年は新幹線で東京から1時間の身近なリゾートとして、観光客が増加しています。また熱海は伊豆半島への通り道にあたり、行き帰りに立ち寄ることができるなど日帰り需要も十分期待できる立地です。

当社グループは熱海で50年にわたりホテル営業を続けており、ブランドも定着していることから、旅行者のニーズを捉えた施設運営により十分採算性は確保できると考え、投資に踏み切りました。新施設は2019年春の開業を予定しています。

③　東京ドームシティ外において、新規事業の追求および新規顧客の獲得を目指します。

新規事業の追求として、東京ドームシティで長年にわたり蓄積してきた施設・イベントに関するノウハウの商品化・外部展開に取り組んでいます。例えば、東京ドームの人気イベントコンテンツのひとつである「全国ご当地どんぶり選手権」は香港での開催が実現し、企画として初の海外進出となりました。また、2017年4月にオープンしたGallery AaMoでは催事を1～3ヶ月ごとに入れ替えて展開する予定でおり、成功した企画を外部展開できる可能性は高いと感じています。

さらに、株式会社ショーケース・ティービーと共同開発したAudio guide Q(オーディオガイド キュー)もあります。美術館などで使用する音声ガイドをスマートフォンのアプリで提供するサービスで、TeNQなど東京ドームシティ内で活用してきましたが、2017年4月に「星の王子さまミュージアム 箱根サン=テグジュペ



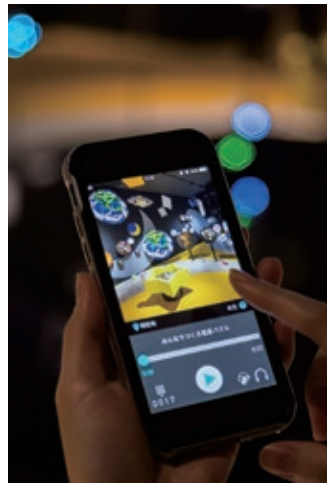
提供:竹中工務店

【2019年春予定】熱海に複合型リゾート施設をオープン

当社グループがホテル運営の実績を持つ熱海に、約110億円を投じ複合型リゾート施設を建設します。2016年にリニューアルした既存のタワー館とともに、宿泊施設では年間15万人、温泉施設では年間25万人の集客を見込んでいます。

【2016年7月】
Audio guide Q提供開始

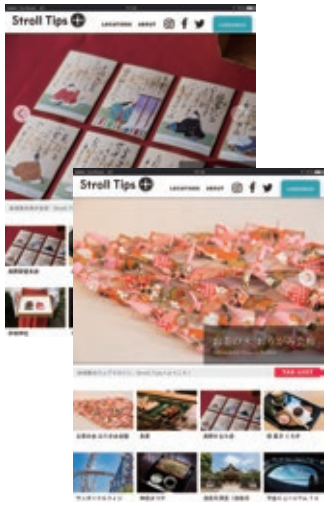
ミュージアムなどで使用するオーディオガイドをスマートフォンのアプリで利用できるようにするシステムを企画開発。多言語の音声登録が可能で、訪日外国人来場者へのサービス需要を見込み、拡販に取り組んでいます。



Stroll Tips

【2016年9月】
Stroll Tips配信開始

東京ドームシティを中心に周辺地域の文化・観光・レジャー施設、飲食店を日英中の3ヶ国語で紹介するWebマガジン。地域を示すシンボルマーク「神神白湯(しんしんはくとう)」をつくり地域全体のブランディングを目指しています。





【2017年4月】Crème et Rougeオープン

shop inに次ぐ流通事業の新業態として、大阪府・阪急梅田駅併設の「阪急三番街」に1号店をオープン。30代以上の"オトナ女子"をイメージターゲットに美容ニーズをオールインワンでサポートします。

リ」に導入され、外販を実現しました。今後も全国の博物館や美術館、観光施設向けに積極的に拡販していきたいと考えています。

④　東京ドームシティ外の既存事業の事業性の維持と向上を目指します。

当社グループでは、これまで東京ドームシティ事業を含む7つのセグメントで事業を展開してきました。しかし札幌事業として行っていた東京ドームホテル 札幌の運営から撤退したため、今後の当社グループの事業構成は6セグメントとなります。

東京ドームホテル 札幌は、物件賃貸により1988年から営業を続けてきた事業で、「新機軸」のスタート時点で撤退の予定はなく、収益向上を目指していました。しかし、契約主との賃貸借契約交渉の結果、残念ながらこの4月に営業を終了する事になりました。

流通事業で展開するセレクトコスメショップshop inについては、このところ業績不振の状況が続いています。shop inは一定のブランドを構築できていると思いますが、流通事業として強力なブランドを確立する必要があるとの認識から、これまで長く続けてきた単一ブランドによる展開を見直し、新しいブランドの開発により複数ブランド戦略への転換を進めています。その第1弾としてCrème et Rougeという新ブランドを立ち上げ、2017年4月には大阪梅田に1号店をオープンしました。

⑤　グローバル化・ユニバーサル化を視野に入れた環境整備に取り組みます。

近年は東京ドームシティでも訪日外国人のお客様が急増しており、お客様を受け入れるための体制整備の一環として案内看板、サインの多言語化を進めています。また、ホームページは海外に向けての情報発信、多言語化を目指しリニューアルを進めているところで、2018年1月の公開を予定しています。

また、東京ドームシティを中心とする周辺地域のブランディングを図り、地域観光WebマガジンとしてStroll Tips(ストロールティップス)の配信を開始しました。東京ドームシティ内の施設をはじめ神保町、神楽坂、白山、湯島といった近隣地域の情報を海外向けに発信しています。

⑥　いつも安全・安心な環境を保ち続けることに取り組みます。

「起動」の初年度に事故・震災を経験したこともあり、安全面に対しては、特に安全文化の醸成に最優先で取り組んできました。安全マネジメントシステムを構築し、全社的な事故対応、災害対応のレベルアップに努めています。

安全に近道はなく、不断の訓練と従業員への意識づけがすべてです。一定レベルに達している安全の意識を、さらなる高みに引き上げていく必要性を感じています。安全意識の共有化を図ることで、部署間のレベル差を無くし、従業員の意識を高い水準に導きたいと感じています。テロ・感染症・地震などあらゆるリスクを想定して各種アクションプランを用意し、実践的な訓練を全社・各部署で定期的に実施し、万一の事態に備えています。

⑦　人的資源の獲得・育成に取り組みます。

人材確保については、長く働き続けることができる職場環境づくり

がポイントと考えています。そのためにトレーナーを養成する「教育センター室」を2017年4月に新設しました。専門的なトレーニングを受けた社員たちが各部署・グループ会社に戻って新入社員・アルバイトを教育することで、離職率の低下につながると考えています。これは、東京ドームシティ アトラクションズ内で1年前にスタートした取り組みですが、実際に成果が表れているところから全社展開を決定しました。

また、専門職社員制度も2017年4月にスタートし、21名の専門職社員1期生が誕生しました。アルバイトで入社しても専門職社員になれるルートが整備されたことで、モチベーションアップにつながることを期待しています。

⑧　グループ経営体制の再構築に取り組みます。

2017年4月に組織改正を行い、「マーケティング本部」を新設しました。これまでマーケティングは各部署で行っていましたが、今回の改正により、これからは東京ドームシティとして共通の方向性のもとマーケティング戦略を策定・推進していくことになります。



Q 10年後、20年後の将来、東京ドームグループはどんな企業グループになっているとお考えですか。「新機軸」の先にある成長の方向性について、お聞かせください。

当社グループでは現在、東京ドームシティ事業の売上が全体の8割弱を占める状況です。もちろん東京ドームシティにはまだ成長性があり、今後も収益は伸びると確信しています。しかし、グループが将来にわたり大きく成長していくことを目指すなら、東京ドームシティにとどまらず、外に向かって拡大していかなければ可能性は広がりません。

東京ドームシティの価値向上・利益拡大の取り組みは当然ひとつの軸として進めていきますが、もうひとつの新しい軸として、東京ドームシティ以外の事業を拡大していく必要があります。

その方針のもと、今注目しているのが流通事業、さらに、その他の事業としてグループ会社が展開しているスポーツクラブ運営・施設管理の受託事業です。施設管理・運営受託と東京ドームシティでのイベント企画のノウハウを組み合わせ、トータルソリューションとして広くサービスが提供できるようになれば、東京ドームシティ事業とそれ以外の5事業のバランスは少しずつ是正され、グループの拡大に寄与すると考えています。

Q 東京ドームグループがステークホルダーとどのように関わり、また、社会の中でどのような役割を果たしていこうとしているのか、すべてのステークホルダーに向けて、ひと言メッセージをお願いします。

当社グループの経営理念は、“私たちは、人と ひと とのふれあいを通して、お客様と「感動」を共有し、豊かな社会の実現に貢献します”です。私は、ここにある「感動」の共有こそ、当社グループが社会に対して担うべきテーマだと考えています。私たちは、どの部署・グループ会社に所属しようとお客様はもちろん、地域社会、ビジネスパートナー、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様と感動を共有するために、日々継続して施設の新設・運営、環境の改善を行っています。

私たちが関わる全ての人々と感動を共有するというビジョンのもとにグループで働く全員の力を結集すること、そして、その力で「新機軸」の目標達成を目指すこと――これが経営者である私に与えられた使命だと考え、日々業務に取り組んでいます。

どうぞ、今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

東京ドームグループの社会的責任

経営理念・安全理念を中心に、
コンプライアンスの徹底をはじめ、
CSRの各分野に積極的に取り組んでいます。
安全・安心の確保こそが、
東京ドームグループの社会的責任です。






組織統治

お客様の安全・安心の確保とともにコーポレート・ガバナンスを充実させ、グループ全体の経営の透明性・健全性・効率性を高めていくことを重要な経営課題ととらえています。特に、各ステークホルダーの皆様と良好な関係を構築していくため、適時・適切に情報を開示していくことが重要と考えています。

主な取り組み

- 安全に対する取り組み
- コンプライアンスの重視
- 内部統制システム
- リスク管理委員会の設置

人権

「コンプライアンス行動規範」において、法令遵守はもとより、人権を尊重し、差別やハラスメントを行わない旨を定め遵守しています。

主な取り組み

- お身体の不自由なお客様の利便性向上への取り組み
- ハラスメント防止教育
- ダイバーシティ

労働慣行

従業員一人ひとりの能力が最大限に発揮できるよう、人材育成のためのさまざまな取り組みを推進し、安心して働ける職場環境の整備に努めています。

主な取り組み

- 能力開発システム
- 「教育センター室」の設置
- EAPプログラム
- セカンドキャリア制度
- 両立支援への取り組み（育児・介護など）
- 一般事業主行動計画






環境

事業活動で発生する環境負荷の低減に向けて、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。環境に配慮したシステムの導入や専門組織の設置など、地球温暖化防止をはじめとする持続的な環境保全を積極的に推進しています。

主な取り組み

- 温暖化対策分科会
- ゴミ処理分科会
- 太陽光パネル設置
- 東京ドームシティの各施設における環境保全対策

公正な事業慣行

組織として社会的責任を果たすための公正な事業慣行の維持を重要課題として、各ステークホルダーの皆様の信頼に応えていきます。

主な取り組み

- 政治、行政、取引先との公正な関係の維持
- 内部通報制度
- 情報セキュリティ
- 個人情報保護
- 反社会的勢力の排除に向けた基本的な考え方

消費者課題

すべての事業においてお客様に安心して楽しんでいただける場を持続的に提供していけるよう、さまざまな対策を講じています。

主な取り組み

- 安全への取り組み
- 顧客満足に対する取り組み

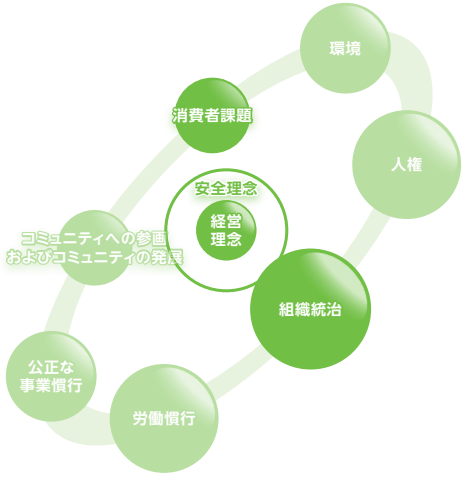
コミュニティへの参画およびコミュニティの発展

イベントの企画、防災、定期的な地域の美化活動、文化事業の支援、自社施設へのご招待など、地域住民の方々に密着した幅広い取り組みを実施しています。

主な取り組み

- 地域の美化活動
- 文化事業への貢献
- 自社施設へのご招待
- 企業訪問の受け入れ
- 地域社会とのかかわり





PICK UP 安全への取り組み

安全こそが当社グループの存立基盤です。

すべての事業においてお客様に安心して楽しんでいただける場を持続的に提供するために、さまざまな安全対策を講じています。「安全こそが当社グループの存立基盤である」ことを強く認識し続けるため、2011年4月21日に「安全理念・安全基本方針」を制定・施行しました。この理念・方針のもと、常に日々新たな気持ちで「安全文化」を築き上げるための努力を継続します。今後も、施設・設備の老朽化に対する更新投資の継続や、安全管理体制の推進と拡充、オリンピック開催を見据えたテロ対策強化や、防災・防犯の教育、訓練活動の拡充も進め、「いつも安全・安心な環境を保ち続ける取り組み」を強化していきます。

安全理念

東京ドームグループは、
お客様と「感動」を共有するために、
安全を第一に考え、行動します

安全基本方針

- 安全で楽しい施設とサービスの提供を追求し続けます
- 安全について私たち自身で基準を設定し遵守します
- 安全のための教育訓練に積極的に取り組みます

「安全の日」と「安全週間」

安全に対する強い意識を新たにする日として、1月30日を「安全の日」と制定しています。また、1月30日から2月5日までの1週間を「安全週間」とし、各事業所や各施設における安全の総合点検、統括安全管理者による安全巡視を行っています。



「安全週間」統括安全管理者による安全巡視

全社的な取り組み

お客様および従業員に対する総合的な安全管理体制構築の推進を所轄する部署として、安全推進室を設置。2014年4月25日には担当役員を選任し、さらなる機能の強化を図りました。また、当社代表取締役社長が統括安全管理者に就任し、経営において安全面を重視して判断する責任を負うこととしました。安全推進室は、年次総合安全計画の策定、総合安全活動に関する企画立案・推進、安全監査、リスクアセスメント、年次総合安全報告書の策定などを担当し、安全確保の施策全般をスパイラルアップさせていくためのPDCAサイクルの仕組みをつくり、機能・維持していきます。

東京ドームシティ アトラクションズの取り組み

東京ドームシティ アトラクションズでは、以下の安全対策を確立し、実施運用しています。

1 各アトラクションが依拠すべき安全基準の策定

〈総合安全基準〉

1. アトラクション機器、施設設備に関わるリスクを網羅的に洗い出し、適切な対策を実施すること
2. アトラクション機器、施設設備の安全性を維持するために、十分な点検、検査、修繕等を実施すること
3. お客様に安全にご利用いただくための補助、確認、情報案内・掲示を確実に行うこと
4. 緊急時にお客様に安全に退避してもらう手段を確立すること
5. 従業員は、施設内で危険を察知した際は、躊躇せず安全を第一に考えた行動を取ること
6. 継続的な教育・訓練によって、従業員の安全に関する意識、知識、能力の向上を図り、社内に安全文化を定着させること
7. 上記1から6の事項が適切に実施されていることを常にモニタリングし、絶え間なく安全性の維持・向上に努めること

2 安全基準に基づく遊戯施設運行管理規定、オペレーションマニュアルの整備

3 安全基準に基づく施設面の整備等

4 社内教育体制の整備とオペレーションマニュアル厳守の徹底

5 安全対策の履行状況全体に対する適切なモニタリングシステムの整備

6 安全の確保を最優先とするにふさわしい組織と人員配置の追求

7 総合的な安全管理体制（安全マネジメントシステム）の構築

安全啓発室

2017年1月30日、「東京ドームグループ安全啓発室」を設置しました。2011年1月30日のお客様死亡事故時の舞姫搬器の一部や、事故概要などのパネルを恒常的に展示し、安全文化の醸成と安全意識の向上のために、全従業員の安全教育の場として活用しています。



安全啓発室

テロ対策で警視庁より表彰

2016年4月28日、「第16回テロ対策東京パートナーシップ推進会議」にて、警視総監賞を受賞しました。テロ対策パートナーシップ推進会議発足時から、合同訓練や研修会等に積極的に参画している企業として、都内のテロ対策における多大な貢献が評価されました。



警視総監から警視総監感謝状を授与

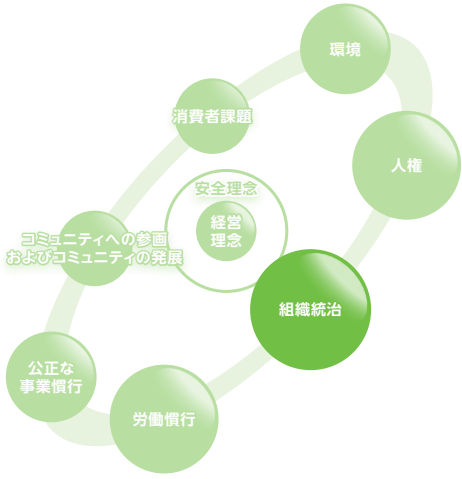
防火対策で東京消防庁より表彰

2016年11月7日、東京消防庁より、「長期にわたり優良防火対象物として認定を継続されている事業所」として表彰されました。同庁が、2006年から火災予防条例に基づき優良防火対象物認定表示制度を推進し、10年の節目を迎えたことによります。



小石川消防署長から消防総監表彰状を授与

コーポレート・ガバナンスに関してのより詳細な情報は
http://www.tokyo-dome.jp/csr/governance02.html を参照ください。



PICK UP コーポレート・ガバナンス

当社は、コーポレート・ガバナンスの充実により、グループ全体の経営の透明性、健全性、効率性を高めることが、持続的な企業価値の向上に不可欠であり、重要な経営課題ととらえています。特に、株主をはじめ、顧客、取引先、地域社会、従業員等のステークホルダーと良好な関係を構築するために適時・適切に情報を開示し、企業活動の透明性を確保することが重要だと考えています。当社は、監査役制度を採用し、取締役会による業務執行の監督と監査役会による監査を中心とした経営監視の体制を構築しています。また、取締役と監査役の報酬は、株主総会の決議により、取締役全員および監査役全員のそれぞれの報酬総額の最高限度額を決定しており、この点で株主の監視が働く仕組みです。なお、取締役の経営責任を明確化し、経営環境の変化に対応できる経営体制を機動的に構築するために、取締役の任期を1年にしています。

コーポレート・ガバナンス体制の概要

取締役会　取締役10名（うち、社外取締役3名）で構成され、当社の経営方針および業務執行を決定し、取締役および執行役員の職務の執行を監督する権限を有しています。

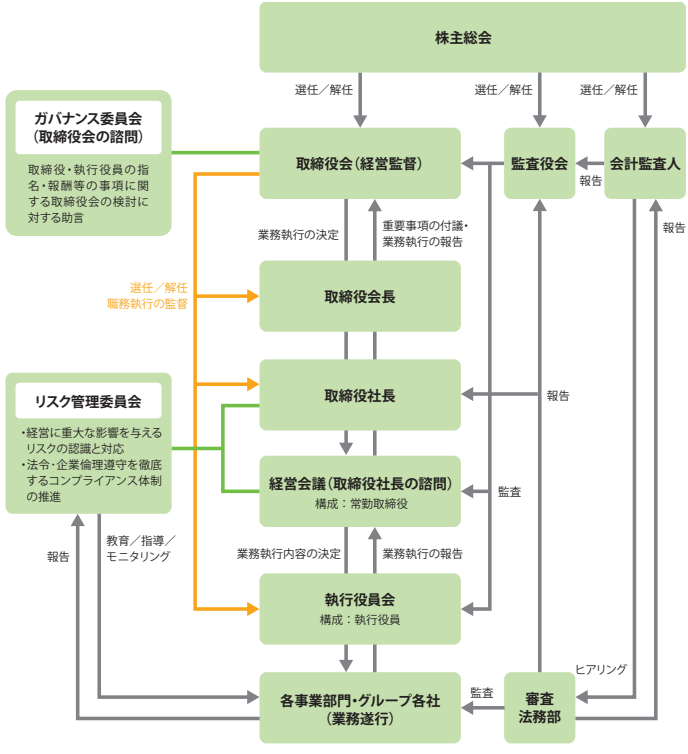
監査役会　監査役4名（うち、社外監査役2名）で構成され、監査に関する重要な事項について報告を受け、協議を行い、または決議をしています。各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務の分担などに従い、取締役会およびその他の重要な会議に出席するほか、取締役等に営業の報告を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所には自ら赴き業務および財産の状況を調査しています。

経営会議　取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、常勤取締役全員によって構成される経営会議を設置し、取締役会に付議すべき事項の決定ならびに取締役会の決議事項に基づく取締役社長の業務執行に必要な答申を行っています。

執行役員会　戦略的・機動的な意思決定と業務執行を目指して執行役員制度を導入しています。執行役員は、取締役会で選任され、取締役会の決定に基づき社長が委嘱する担当職務の執行責任者としての責任と権限を有し、業務を執行しています。また、執行役員全員によって構成される執行役員会を設置し、取締役会および経営会議の決議事項を伝達し、社長の業務執行に関する情報交換・連絡・調整の円滑化を図っています。なお、現場・現実に根ざした意思決定と監督を行うため、監督と執行の完全な分離は志向せず、常勤取締役が執行役員として業務執行を担当するとともに取締役会に参画する体制をとっています。

ガバナンス委員会　取締役会の諮問機関として独立社外取締役を多数構成とするガバナンス委員会を設置し、取締役および執行役員の指名ならびに報酬等特に重要な事項に関して取締役会が検討するに当り、本委員会が適切な答申を行うことで取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化しています。

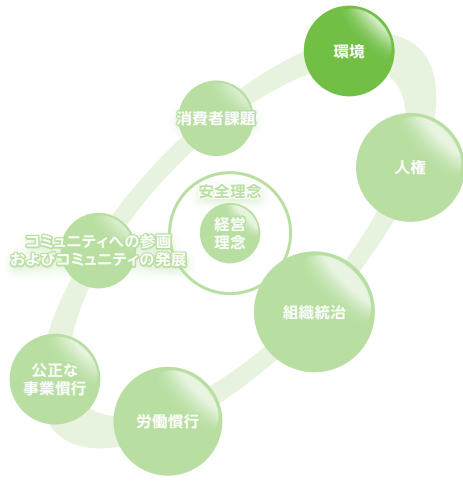
東京ドームグループのコーポレート・ガバナンス体制



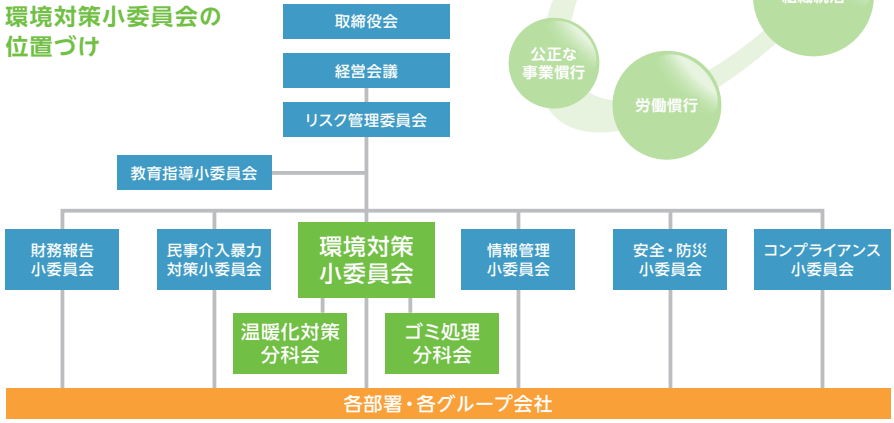
PICK UP 環境負荷の低減への取り組み

リスク管理を体系的に定める「リスク管理規定」に基づき、経営に重大な影響を与えるリスクをトータルに認識して対応するために、当社代表取締役社長を委員長とする「リスク管理委員会」を設置しています。

「リスク管理委員会」のもとに、周辺環境対策や地球温暖化対策、ゴミ処理などの環境保全を統制する「環境対策小委員会」を設置し、それぞれの担当分野におけるリスクマネジメントを実施しています。

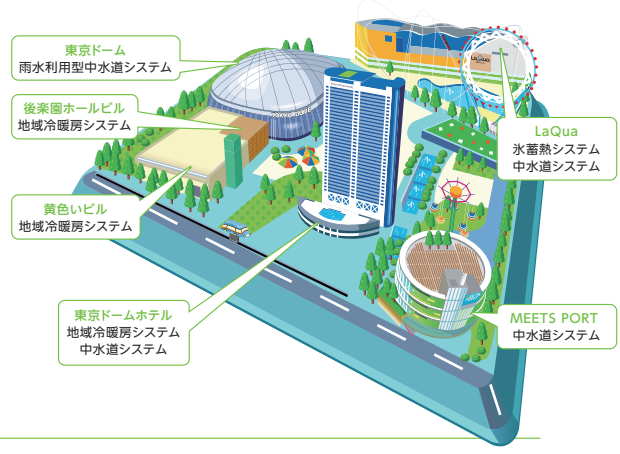


環境対策小委員会の位置づけ



東京ドームアリーナ内の全照明LED化をはじめ、省エネ関連設備を積極的に導入

東京ドームシティでは、各施設にて省エネルギーの推進と環境負荷の低減をいち早く実現しています。2016年からの東京ドーム大規模リニューアルにおいては、アリーナ内の全照明をLEDに更新しました。また、その他の省エネ対策として、「東京ドームの雨水再利用システム」「地域冷暖房システム」「深夜電力を有効に活用した氷蓄熱設備」「微細な電力制御による省エネ効率の高いインバータ設備」「『エネルギーの見える化』システム」をはじめとした設備を積極的に導入しています。さらに、東京ドームシティ内で100名を超える省エネ担当者を選任し、各エリアで照明や空調設備の運転時間、設定温度の管理を強化するなど、地球温暖化防止対策推進の組織体制も強化しています。今後も継続して省エネ活動に取り組みます。



MEETS PORTが「第8回 屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」で受賞

2009年10月16日、財団法人 都市緑化技術開発機構（2013年4月より公益財団法人 都市緑化機構）が主催する「第8回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」の表彰式が行われ、MEETS PORTが「屋上緑化部門：日本経済新聞社賞」を受賞しました。

[受賞理由]
都市内の公園として木立と人の距離を縮める設計などが評価されました。



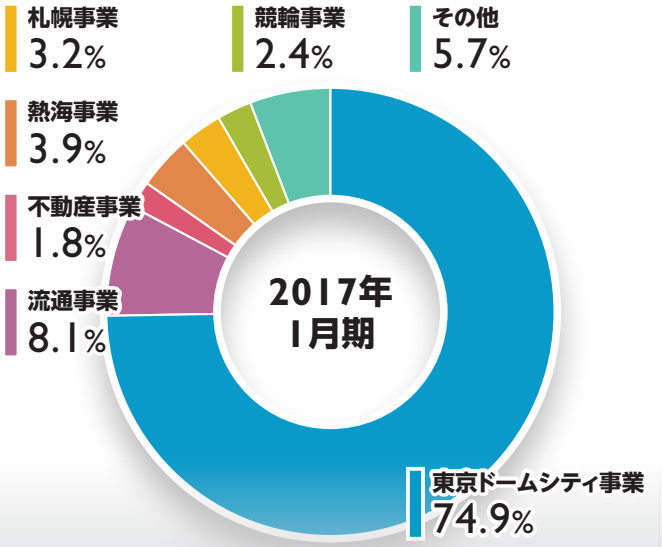
松戸競輪場などにソーラーパネルを設置

エネルギー利用の合理化および地球温暖化対策の一環として、グループ会社においても省エネ・環境対策に取り組んでいます。松戸公産株式会社が運営する松戸競輪場（千葉県松戸市）および、自然に恵まれた場外車券売場であるサテライト大和（宮城県黒川郡）にソーラーパネルを設置しています。



松戸競輪場のスタンド屋根を利用して設置するほか、駐車場にも設置。

売上高構成比

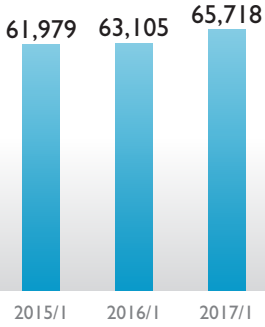


東京ドームシティ事業

東京ドームのイベント開催数の増加と物販の好調、東京ドームホテルの客室単価が過去最高を記録したことなどにより、売上高は65,718百万円（前期比4.1%増）、営業利益は16,015百万円（前期比4.1%増）となりました。

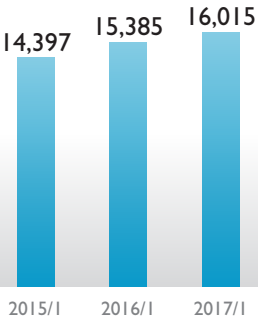
売上高

65,718百万円
前期比 4.1%



営業利益

16,015百万円
前期比 4.1%



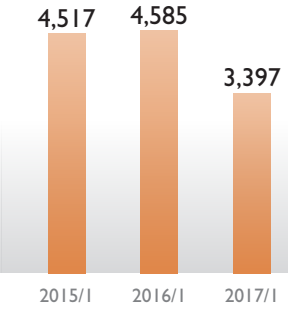
※2017年4月末をもって、東京ドームホテル 札幌としての営業を終了いたしました。

熱海事業

熱海後楽園ホテルのリニューアル計画に基づく、みさき館の閉鎖に伴い、2016年9月以降はタワー館単館での営業となったことにより、売上高は3,397百万円（前期比25.9%減）、営業損失は119百万円（前期比479百万円減）となりました。

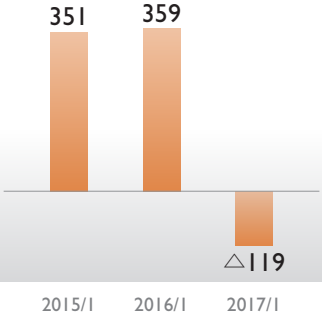
売上高

3,397百万円
前期比 25.9%



営業利益

△119百万円

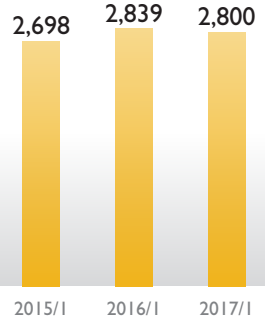


札幌事業

来道者の増加を背景に宿泊部門において客室稼働率、単価ともに好調に推移しましたが、婚礼部門の不振により、売上高は2,800百万円（前期比1.4%減）、営業利益は17百万円（前期比54.6%減）となりました。

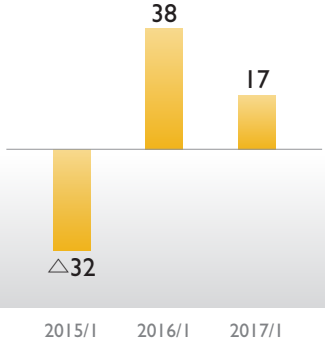
売上高

2,800百万円
前期比 1.4%



営業利益

17百万円
前期比 54.6%



各事業の売上高は、セグメント間取引を含んでいません。

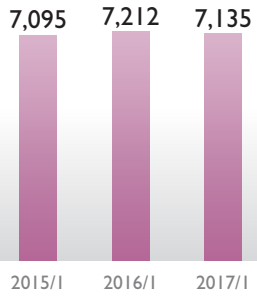
流通事業

店舗数の減少により、売上高は7,135百万円（前期比1.1%減）、営業損失は65百万円（前期比47百万円損失増）となりました。

売上高

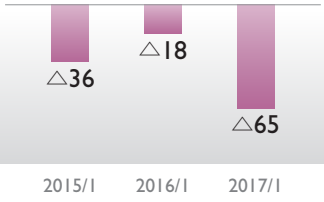
7,135百万円

前期比 1.1%



営業利益

△65百万円



不動産事業

テナントの稼働が堅調に推移し、売上高は1,571百万円（前期比0.7%増）、営業利益は579百万円（前期比2.4%増）となりました。

売上高

1,571百万円

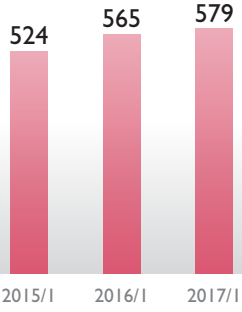
前期比 0.7%



営業利益

579百万円

前期比 2.4%



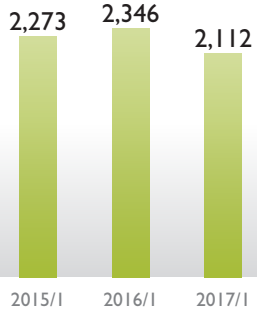
競輪事業

本場開催でのレースグレードが前期と比べて低かったことや場外発売日数の減少、サテライト大和の運営方法の変更により、売上高は2,112百万円（前期比10.0%減）、営業利益は66百万円（前期比42.2%減）となりました。

売上高

2,112百万円

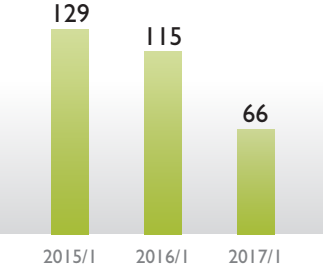
前期比 10.0%



営業利益

66百万円

前期比 42.2%



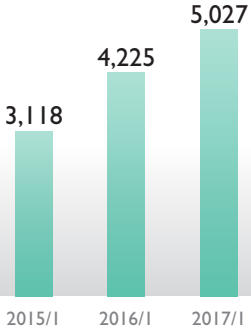
その他

スポーツ施設の運営受託の増加により、売上高は5,027百万円（前期比19.0%増）、営業利益は313百万円（前期比119.9%増）となりました。

売上高

5,027百万円

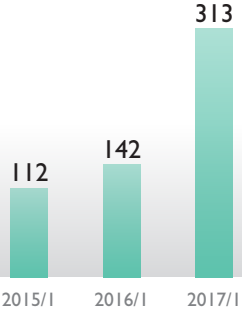
前期比 19.0%



営業利益

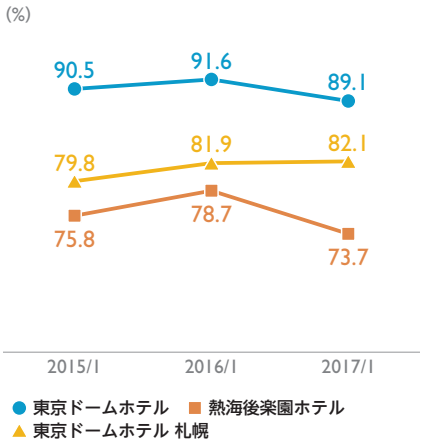
313百万円

前期比 119.9%



施設名・事業名	売上高※1（百万円）			来場者数（千人）		
	2015年1月期	2016年1月期	2017年1月期	2015年1月期	2016年1月期	2017年1月期
東京ドームシティ事業※2						
東京ドーム（自主興行売上を含む）	13,518	13,977	14,069	8,124	8,464	8,681
飲食店および物販店（直営、コンサートなどのグッズ販売を含む）	15,929	15,550	18,075	—	—	—
東京ドームエリア	14,314	14,440	16,898	—	—	—
その他	1,615	1,110	1,176	—	—	—
LaQua	6,171	6,087	5,921	14,200	15,000	15,100
Spa LaQua	3,540	3,424	3,271	750	750	719
東京ドームシティ アトラクションズ※3	2,956	3,104	3,209	4,948	5,565	5,724
シアターGロッソ	—	—	—	338	310	310
ASOBono！	364	370	363	363	369	360
黄色いビル	4,540	4,488	4,430	—	—	—
WINS後楽園（テナント）	—	—	—	3,579	3,218	3,026
o f f t 後楽園（テナント）	—	—	—	982	1,081	1,039
宇宙ミュージアム TeNQ	470	407	383	248	218	205
スポドリ！	232	249	248	188	194	196
東京ドーム ローラースケートアリーナ	105	105	107	99	96	98
東京ドームボウリングセンター	357	371	375	223	231	226
MEETS PORT	1,478	1,697	1,736	3,465	3,464	3,494
TOKYO DOME CITY HALL	663	717	738	648	526	521
後楽園ホール	507	535	510	375	394	364
PRISM HALL	449	605	550	537	599	609
東京ドームホテル	13,280	13,880	14,049	1,909	1,923	1,894
Gallery AaMo	—	—	—	—	—	—

ホテル別客室稼働率



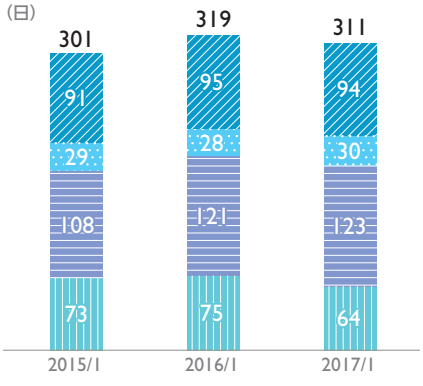
施設名	宿泊者数（千人）			宴会件数（件）			婚礼件数（件）		
	2015年1月期	2016年1月期	2017年1月期	2015年1月期	2016年1月期	2017年1月期	2015年1月期	2016年1月期	2017年1月期
東京ドームホテル	528	539	528	2,182	2,236	2,190	273	231	248
熱海後楽園ホテル	203	209	144	—	—	—	—	—	—
東京ドームホテル 札幌	147	150	151	2,611	2,544	2,546	139	146	112

※1 売上高は、社内取引を含んでいません。
※2 各施設の数値は東京ドームシティ事業の傾向を把握していただくものであり、主要施設のみ抽出し参考値として表示してあります。
よって各施設の売上高の合計は36ページの事業別業績ハイライトの東京ドームシティ事業の数値とは一致しません。
※3 東京ドームシティ アトラクションズの来場者数は、アトラクションの利用者数。

	施設概要		
	開業日	面積等	施設規模
	1988年　3月17日	建築面積：46,755m²／グラウンド：13,000m²	地上6階・地下2階　高さ 地上56.19m　グラウンド 61.69m　容積 124万m³ 収容人数（目安）野球46,000人／コンサート55,000人
	東京宝島、BALL PARK STOREなど、東京ドーム内外のレストラン、ショップ		
	2003年　5月　1日	敷地面積：16,000m²／延床面積：55,500m²	地上9階・地下2階
	2003年　5月　1日	延床面積：10,000m²	ラクーアビル5階～9階 泉質 ナトリウム－塩化物強塩泉
	1955年　7月　9日	敷地面積：30,000m²	アトラクション数 23種類
	2009年　4月25日	—	ジオポリス地下1階～地上1階　収容人数 765人
	2011年　8月19日	敷地面積：1,720m²	プレイエリア 5箇所　対象年齢 0歳～12歳　定員 500人
	1973年　4月20日	敷地面積：11,735m²	地上10階・地下1階
	1949年　4月16日	—	黄色いビル1階～9階
	1987年　6月14日	—	黄色いビル1階
	2014年　7月　8日	フロア面積：2,600m²	黄色いビル6階
	2013年　9月14日	フロア面積：2,600m²	黄色いビル3階　野球エリア、ゴルフエリア、ボルダリングエリア、多目的フィールド
	2011年12月22日	フロア面積：1,600m²	黄色いビル4階　40m×24mのメインリンク、ミニリンクエリア、ダンスエリア
	1961年　6月15日	延床面積：3,600m²	黄色いビル4階～5階　全54レーン
	2008年　3月19日	敷地面積：6,579m²／延床面積：21,405m²	地上5階・地下4階
	2008年　3月19日	延床面積：12,300m²	MEETS PORT地下3階～地上2階　収容人数 3,000人
	1962年　4月16日	ホール：575m²／展示会場：171m²	後楽園ホールビル5階～6階　収容人数 2,005人
	1990年12月17日	フロア面積：2,809m²	天井高5m　収容人数 2,085人
	2000年　6月　1日	敷地面積：15,865m²／延床面積：105,856m²	地上43階・地下3階　高さ155m　1,006室
	2017年　4月15日	延床面積：830m²	天井高5m

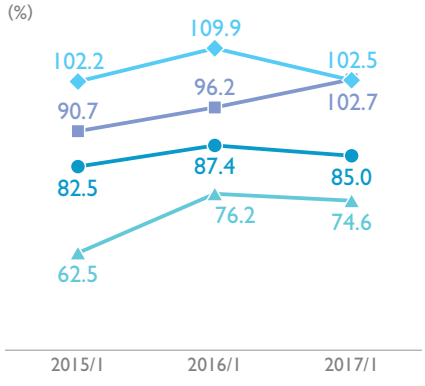
東京ドーム イベントジャンル別稼動日数

※本番のほかに設営・撤去を含む

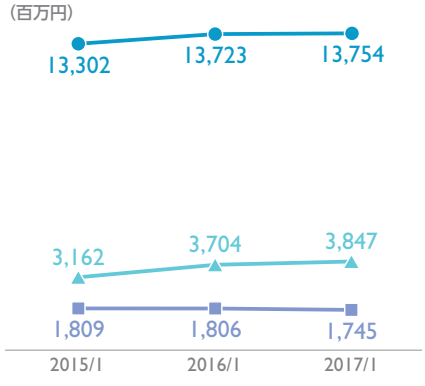


イベントホール稼働率

※本番のほかに設営・撤去を含む



東京ドームシティ内主要施設別テナント売上



損益の状況

(百万円)

	2016/1	2017/1	増減率 (%)
売上高	85,875	**87,761**	2.2
営業利益	12,737	**12,589**	△1.2
経常利益	10,636	**10,771**	1.3
親会社株主に帰属する当期純利益	4,559	**6,635**	45.5

東京ドームにおける野球・コンサートイベントの開催日数の増加や物販の好調、株式会社東京ドームスポーツによる指定管理者としての新規運営受託などにより、売上高は87,761百万円(前期比2.2%増)となりましたが、熱海後楽園ホテルの営業規模の縮小が影響し、営業利益は12,589百万円(前期比1.2%減)となりました。経常利益は10,771百万円(前期比1.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6,635百万円(前期比45.5%増)となりました。

総資産、負債および純資産の状況

(百万円)

	2016/1	2017/1	増減額
資産合計	302,715	**303,503**	788
流動資産合計	26,773	**30,470**	3,696
固定資産合計	274,299	**271,441**	△2,857
繰延資産合計	1,642	**1,591**	△50
負債合計	216,403	**208,900**	△7,502
流動負債合計	70,195	**66,412**	△3,782
固定負債合計	146,207	**142,488**	△3,719
純資産合計	86,312	**94,602**	8,290
株主資本合計	22,463	**27,949**	5,486
その他の包括利益累計額合計	63,848	**66,653**	2,804
土地再評価差額金	53,871	**55,286**	1,414

資産　流動資産については、年間シートの入金の早期化により現金及び預金が増加し、30,470百万円(前期末比3,696百万円増)となりました。

固定資産については、有形固定資産の減価償却のほか、税務繰越欠損金の控除などにより繰延税金資産が減少し、271,441百万円(前期末比2,857百万円減)となりました。

その結果、資産合計は、303,503百万円(前期末比788百万円増)となりました。

負債　有利子負債の圧縮が順調に進み、有利子負債(長期・短期借入金、社債の合計)は、152,034百万円(前期末比6,610百万円減)となりました。

その結果、負債合計は、208,900百万円(前期末比7,502百万円減)となりました。

純資産　株主資本については、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益の計上により増加し、27,949百万円(前期末比5,486百万円増)となりました。

その他の包括利益累計額については、税制改正に伴う再評価に係る繰延税金負債の取り崩しにより、土地再評価差額金が増加し、66,653百万円(前期末比2,804百万円増)となりました。

その結果、純資産合計は、94,602百万円(前期末比8,290百万円増)となりました。

キャッシュ・フローの状況

（百万円）

	2016/1	2017/1	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,405	**19,185**	△219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,367	**△6,725**	△358
フリーキャッシュ・フロー	13,038	**12,460**	△578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,310	**△9,110**	1,199
現金及び現金同等物の期末残高	17,289	**20,639**	3,349

営業活動によるキャッシュ・フロー　単館稼動となった熱海後楽園ホテルの営業規模の縮小などにより19,185百万円の収入となり、前期比で219百万円の減収となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー　設備投資の増加などにより6,725百万円の支出となり、前期比で358百万円の支出増となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー　有利子負債の削減が順調に進んだことなどにより9,110百万円の支出となり、前期比で1,199百万円の支出減となりました。

2018年1月期の見通し

（2017年3月16日発表）

（百万円）

	2017/1	2018/1	増減率（%）
売上高	87,761	**82,000**	△6.6
営業利益	12,589	**10,600**	△15.8
経常利益	10,771	**9,100**	△15.5
親会社株主に帰属する当期純利益	6,635	**6,000**	△9.6

東京ドームにおける野球の国際大会「WBC」（ワールドベースボールクラシック）の開催、また東京ドームホテルが引き続き高稼働・高単価で推移すると見込まれる一方で、東京ドームホテル 札幌が2017年4月末をもって営業終了、熱海後楽園ホテル・みさき館が2016年8月末をもって営業終了となったこと、また東京ドームにおいても2017年1月期開催されたクライマックスシリーズの開催を見込んでいないこともあり、減収となる見通しです。

また東京ドームにおいては、より高品質・高機能なサービスによる高付加価値化を目的とした改修などがあり、これに伴う費用も発生する見通しです。

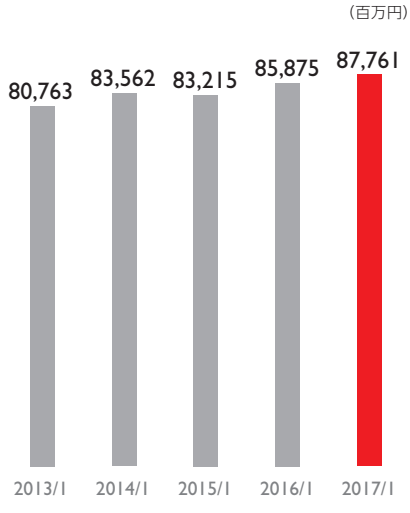
業績予想に関する留意事項

当レポートに掲載されている2018年1月期および将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。よって、実際の業績はさまざまな要因により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となりうることをご了承ください。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社および当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動などが含まれています。

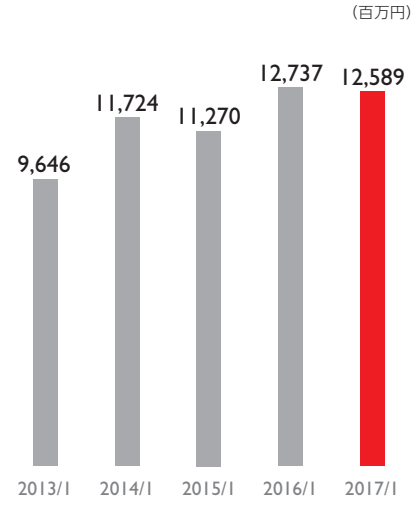
CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS
連結財務ハイライト

株式会社東京ドームおよび連結子会社 1月31日で終了した1年間	2013/1	2014/1	2015/1	2016/1	**2017/1**
貸借対照表データ(百万円)					
資産合計	300,690	304,595	304,484	302,715	**303,503**
流動資産合計	19,247	21,357	22,338	26,773	**30,470**
固定資産合計	279,637	281,568	280,665	274,299	**271,441**
繰延資産合計	1,806	1,668	1,480	1,642	**1,591**
負債合計	239,235	230,163	223,795	216,403	**208,900**
流動負債合計	75,944	76,580	71,588	70,195	**66,412**
固定負債合計	163,291	153,582	152,206	146,207	**142,488**
純資産合計	61,455	74,432	80,688	86,312	**94,602**
株主資本合計	6,609	13,683	20,163	22,463	**27,949**
その他の包括利益累計額合計	54,845	60,748	60,525	63,848	**66,653**
土地再評価差額金	50,977	50,956	50,956	53,871	**55,286**
損益計算書データ(百万円)					
売上高	80,763	83,562	83,215	85,875	**87,761**
売上原価	65,306	66,424	66,396	67,858	**69,441**
一般管理費	5,810	5,413	5,548	5,280	**5,730**
営業利益	9,646	11,724	11,270	12,737	**12,589**
経常利益	7,410	9,318	9,136	10,636	**10,771**
親会社株主に帰属する当期純利益	3,914	8,077	7,441	4,559	**6,635**

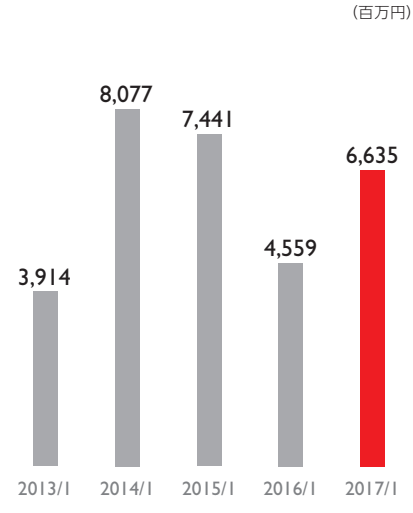
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

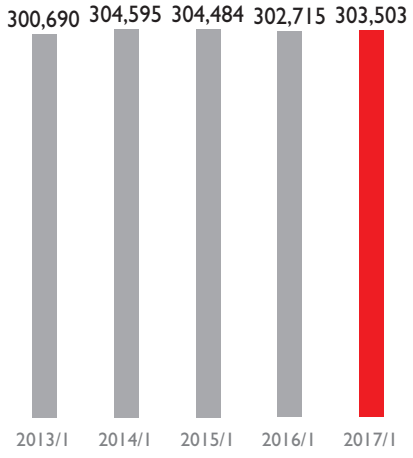


2013 → 2017

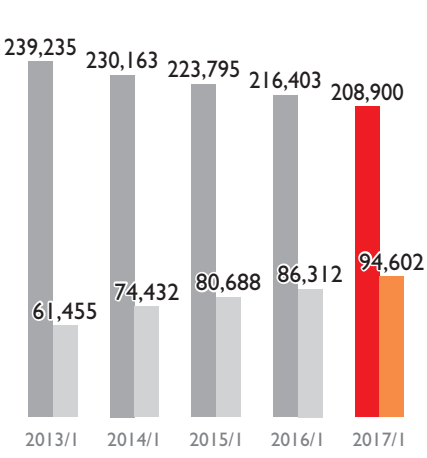
	2013/1	2014/1	2015/1	2016/1	**2017/1**
1株当たり情報※1(円)					
1株当たり当期純利益※2	41.06	84.71	78.07	47.84	**69.63**
1株当たり配当額	10	10	12	12	**14**
1株当たり純資産	644.38	780.84	846.55	905.63	**992.68**
財務指標(%)					
売上高営業利益率	11.9	14.0	13.5	14.8	**14.3**
売上高当期純利益率	4.8	9.7	8.9	5.3	**7.6**
自己資本利益率(ROE)	6.9	11.9	9.6	5.5	**7.3**
総資産経常利益率(ROA)	2.5	3.1	3.0	3.5	**3.6**
自己資本比率	20.4	24.4	26.5	28.5	**31.2**
D/Eレシオ(倍)	3.0	2.3	2.1	1.8	**1.6**
その他の指標(百万円)					
設備投資額	5,309	5,244	6,686	5,853	**7,652**
減価償却費	7,697	7,223	7,326	7,517	**6,746**
有利子負債残高	181,230	172,769	166,085	158,644	**152,034**

※1 2016年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますが、2013年1月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり情報を算定しております。
※2 1株当たり当期純利益は各年度の発行済普通株式数の加重平均値をベースに算出しています。

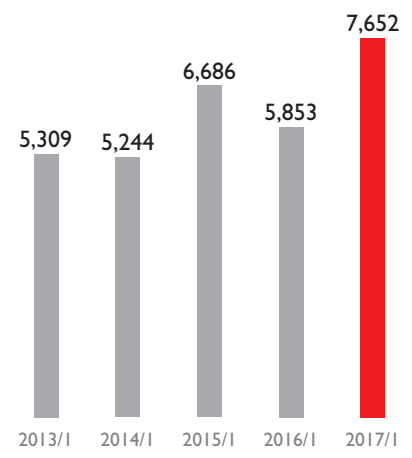
資産合計



負債合計・純資産合計



設備投資額



会社概要

商号	株式会社東京ドーム TOKYO DOME CORPORATION
本社	〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-3811-2111（代表）
URL	http://www.tokyo-dome.jp
設立	1936年（昭和11年）12月25日
資本金	2,038百万円
従業員数	820名

役員（2017年4月27日現在）

取締役	取締役会長 執行役員	久代　信次
	代表取締役社長 執行役員	長岡　勤
	代表取締役専務 執行役員	野村　龍介
	代表取締役専務 執行役員	山住　昭宏
	専務取締役 執行役員	谷口　好幸
	常務取締役 執行役員	西勝　昭
	常務取締役 執行役員	小田切　吉隆
	取締役（社外・独立）	秋山　智史
	取締役（社外・独立）	森　信博
	取締役（社外・独立）	井上　義久
監査役	常勤監査役	田中　雅昭
	常勤監査役	田中　毅
	監査役（社外）	堤　淳一
	監査役（社外・独立）	児玉　幸治
執行役員	常務執行役員	永田　有平
	常務執行役員	柴田　馨
	常務執行役員	久岡　公一郎
	執行役員	大坪　龍太
	執行役員	手島　康彦
	執行役員	岩瀬　敬之
	執行役員	大川　大作

株式情報

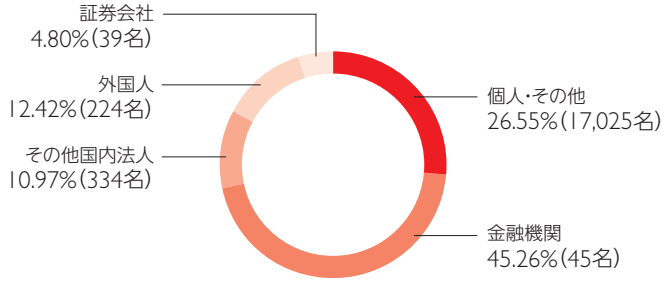
発行可能株式総数	198,000,000株
発行済株式総数	95,857,420株
株主数	17,668名
上場取引所	東京証券取引所　市場第一部 証券コード：9681
定時株主総会	毎年4月、東京にて開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 〒100-8233 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（%）※
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	9,726	10.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	8,163	8.56
株式会社みずほ銀行	4,282	4.49
富国生命保険相互会社	4,276	4.48
株式会社竹中工務店	3,343	3.50
BNPパリバ証券株式会社	2,241	2.35
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	1,529	1.60
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,313	1.37
日本生命保険相互会社	1,304	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	1,292	1.35

※ 当社は、2016年8月1日付で普通株式2株を1株にする株式併合を実施しております。また、同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。
※ 持株比率は、自己株式（525,276株）を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



※パーセンテージは持株比率（自己株式を除く）

連結子会社（12社）

会社名	事業セグメント
株式会社東京ドームホテル	東京ドームシティ事業
株式会社東京ドーム ファシリティーズ	東京ドームシティ事業
株式会社東京ドームスポーツ	東京ドームシティ事業・その他
後楽園事業株式会社	東京ドームシティ事業
松戸公産株式会社	不動産事業・競輪事業
後楽園不動産株式会社	不動産事業
株式会社後楽園フードサービス	不動産事業
株式会社東京ドーム・リゾートオペレーションズ	熱海事業
株式会社札幌後楽園ホテル	札幌事業※
進商事株式会社	その他
オリンピア興業株式会社	その他
株式会社後楽園ロコモティヴ	その他

※2017年4月末をもって、東京ドームホテル 札幌としての営業は終了いたしました。

持分法適用関連会社

会社名	事業セグメント
花月園観光株式会社	競輪事業
東京ケーブルネットワーク株式会社	その他

主要なグループ会社のご紹介

株式会社東京ドームホテル



住所	〒112-8562 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-5805-2111（代表）
設立	1999年2月1日
主な事業内容	東京ドームホテル経営

株式会社東京ドームファシリティーズ



住所	〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-3817-6164
設立	1985年2月1日
主な事業内容	総合ビルメンテナンス業（清掃管理・設備保守・警備業務）

株式会社東京ドームスポーツ



住所	〒112-0003 東京都文京区春日1-1-1 ラクーアビル7F
電話	03-3817-4001
設立	1981年3月31日
主な事業内容	スポーツクラブ・温浴施設などの運営・管理およびその受託

松戸公産株式会社



住所	〒271-0091 千葉県松戸市本町8番地の3
電話	047-366-2121（代表）
設立	1949年5月16日
主な事業内容	松戸競輪場の賃貸と運営受託、不動産の売買・賃貸および管理

株式会社東京ドーム・リゾートオペレーションズ



住所	〒413-8626 静岡県熱海市和田浜南町10-1
電話	0557-82-0121（代表）
設立	2000年3月17日
主な事業内容	熱海後楽園ホテル経営

1936年	12月 25日	(株)後楽園スタヂアム創立
1937年	1月 18日	(株)後楽園野球クラブ(球団名 イーグルス)設立　～1938年株式譲渡　※1943年解散
	9月 11日	後楽園スタヂアム(球場)開場　～1987年閉場　**[写真1]**
1942年	9月 26日	後楽園不動産(株)設立
1946年	10月 11日	後楽園スタヂアム3階に囲碁・将棋遊技場オープン 以降、多角経営に進出
1949年	5月 12日	東京証券取引所に株式上場登録
	7月 27日	大阪証券取引所に株式上場登録　～2009年上場廃止
	10月 31日	後楽園競輪場開場～1973年都営競輪廃止後、後楽園競技場と名称変更し夏期はプール、冬期はゴルフ練習場として営業／1984年閉場
1955年	7月 9日	後楽園ゆうえんち(現・東京ドームシティ アトラクションズ)開場　**[写真2]**
1959年	12月 20日	石打後楽園スキー場、翌年10月石打後楽園カントリークラブ開場 以降、リゾート事業に進出　～2007年事業譲渡
1962年	4月 16日	後楽園ボウリング会館(現・後楽園ホールビル)全館開場
1965年	8月 1日	熱海後楽園(現・熱海後楽園ホテル)開場
1969年	7月 9日	進商事(株)設立
1971年	12月 1日	SHOP IN KORAKUEN(現・shop in)1号店「新宿店」オープン　～1989年クローズ
1973年	4月 20日	黄色いビル開場　**[写真3]**
1977年	11月 30日	黄色いビル別館開場
1980年	2月 1日	(株)後楽園ファイナンス設立　～2006年株式譲渡
1981年	3月 31日	(株)後楽園スポーツ(現・(株)東京ドームスポーツ)設立
1985年	1月 17日	(株)後楽園総合サービス(現・(株)東京ドームファシリティーズ)設立
	10月 28日	(株)大阪後楽園ホテル設立　～2002年清算
1986年	10月 24日	大阪後楽園ホテル開場 以降、シティホテル事業に進出　～2001年閉場
1987年	2月 1日	(株)札幌後楽園ホテル設立
1988年	3月 17日	東京ドーム開場　**[写真4]**
	6月 20日	札幌後楽園ホテル(東京ドームホテル 札幌に2011年名称変更)開場 ～2017年営業終了
1990年	9月 1日	(株)東京ドームに社名変更
	12月 17日	PRISM HALL開場
1992年	7月 1日	ジオポリス開場
1996年	2月 1日	(株)東京ドーム・マーチャンダイジング設立
1999年	2月 1日	(株)東京ドームホテル設立
2000年	1月 1日	東京ドームシティに名称変更
	3月 17日	(株)東京ドーム・リゾートオペレーションズ設立
	6月 1日	東京ドームホテル開場
2003年	5月 1日	LaQua開場　**[写真5]**
2004年	12月 1日	松戸公産(株)を株式交換により完全子会社化
2008年	3月 19日	MEETS PORT開場　**[写真6]**
2014年	7月 1日	「青いビル」を「後楽園ホールビル」へ名称変更(外装リニューアル)


1



2


3


4


5


6



株式会社東京ドーム コーポレートサイト

東京ドームグループの事業のご紹介や
ニュースリリース、IR情報、CSR情報などを
掲載しています。

http://www.tokyo-dome.jp



東京ドームシティ公式サイト

東京ドームシティの営業のご案内を
掲載しています。

http://www.tokyo-dome.co.jp

お問い合わせ先

株式会社東京ドーム
〒112-8575　東京都文京区後楽1丁目3番61号
経営本部　広報IR室
TEL: 03-3817-6029　FAX: 03-3817-6022

株式会社 東京ドーム

〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
TEL: 03-3811-2111（代表）
URL: http://www.tokyo-dome.jp

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
Waterless Printing. Naturally.
VEGETABLE OIL INK